

問1 桓武天皇が、それまでの都であった平城京や長岡京を離れ、新たに平安京を築いた歴史的な背景や理由として、最も適切なものはどれか。

(2018年 沖縄県公立入試 類似)

- 藤原氏による摂関政治を強化し、貴族中心の政治を確立するため。
- 東日本における地震や飢饉を避け、より安全な南の土地へ拠点を移すため。
- 奈良の仏教勢力の政治介入を避け、天皇中心の律令政治を立て直すため。
- 遣唐使の派遣を停止し、日本独自の国風文化を全国に広めるため。

問2 11世紀後半から12世紀後半にかけて、現在の岩手県にある平泉を拠点とし、独自の行政と豊かな文化を築いて東北地方を広く支配した勢力の名称として正しいものを選びなさい。

(2024年 静岡県公立入試 類似)

- 奥州藤原氏
- 伊達氏
- 多賀城の国司
- 鎌倉北条氏

問3 平安時代中期、摂政・関白として権勢を振るった藤原頼通は、京都の宇治に平等院鳳凰堂を建立しました。池の中央に配された阿弥陀堂が、翼を広げた鳥のような優美な形状をしているこの建築は、当時の人々のどのような願いを現世に表現しようとしたものですか。

(2023年 富山県公立入試 類似)

- 禅宗の教えに基づき、座禅などの厳しい修行によって悟りを開くため
- 大陸との貿易による利益を背景に、最新の建築様式を貴族たちに誇示するため
- 阿弥陀仏の住む極楽浄土を現世に再現し、死後の救済を願うため
- 武士の勢力に対抗するため、将軍としての政治的な権威を象徴するため

問4 歴史学習のテーマとして「国風文化」を扱う際、その代表例として「古今和歌集」が挙げられます。この歌集が「勅撰和歌集（ちよくせんわかしゅう）」と呼ばれる理由として、最も適切な説明はどれですか。

(2022年 三重県公立入試 類似)

- 仏教の教えを広めるために、僧侶たちが和歌の形式を借りて記したため
- 中国から伝わった漢詩を、日本風の和歌に翻訳してまとめたため
- 天皇の命令によって、国家の事業として編纂されたため
- 各地の有力な貴族が、自分たちの優れた和歌を自費で出版したため

問5 「この世をば わが世とぞ思う 望月の かけたることも 無しと思えば」という歌について、この歌を詠んだ藤原道長が、自分の権力を「欠けることのない満月」に例えることができた理由として、最も適切な説明はどれですか。

(2020年 和歌山県公立入試 類似)

- 武士の力を背景に、対立する貴族をすべて追放して朝廷の役職を独占したから。
- 仏教を保護し、平等院鳳凰堂を建立して民衆から圧倒的な支持を得たから。
- 遣唐使を廃止したことで大陸の影響を排除し、独自の日本文化を完成させたから。
- 自身の娘を次々と天皇の后にし、天皇の外祖父（母方の祖父）として絶対的な権力を手にしたから。

問6 平安時代初期、桓武天皇のもとで「軍事」と「造作」という二つの大きな事業を継続するかどうかの議論が行われました。「造作」が平安京の造営を指すのに対し、「軍事」とは、東北地方で朝廷の支配に抵抗を続けていた人々を平定するための戦いを指します。この、東北地方で朝廷に抵抗した人々の呼称として正しいものはどれですか。

(2017年 静岡県公立入試 類似)

- 和人
- 蝦夷
- 御家人
- 防人

問7 平安時代末期、平清盛は武士として初めて太政大臣に就任し、政治の実権を握りました。この際、清盛が自身の娘である徳子を高倉天皇の后（きさき）とすることで築き上げた、天皇との政治的な血縁関係を何と呼びますか。

(2026年 山形県公立入試 類似)

- 守護・地頭（しゅご・じとう）
- 外戚（がいせき）関係
- 寄進地系荘園（きしんちけいしやうえん）
- 院政（いんせい）

問8 10世紀の平安時代中期、地方政治の混乱に乗じて、瀬戸内海の高倉天皇の后（きさき）とすることで築き上げた、天皇との政治的な血縁関係を何と呼びますか。

(2023年 愛媛県公立入試 類似)

- 平将門
- 藤原純友
- 坂上田村麻呂
- 藤原道長

問9 国風文化の時期には、漢字を簡略化して作られた「かな文字」が普及しました。これによって、これまで漢字を主に使用していた男性だけでなく、貴族の女性らによる文学作品が多く誕生しましたが、この時期に清少納言によって執筆された、四季の情景などを綴った随筆を選んでください。

(2023年 岐阜県公立入試 類似)

- 古事記
- 枕草子
- 日本書紀
- 源氏物語

問10 平安時代、藤原氏は天皇の補佐役として政治の実権を握りました。このうち、天皇が成人した後にその事務を助け、政務を補佐する役職を何と呼びますか。

(2020年 大阪府公立入試 類似)

- 太政大臣
- 内覧
- 摂政
- 関白

問11 平氏政権が、かつての藤原氏が行った摂関政治と同様の手法を用いて権力を強めた具体的な方法について、最も適切な説明を選びなさい。

(2021年 福岡県公立入試 類似)

- 自分の娘を天皇のきさき（后）とし、その間に生まれた子を天皇に立てることで、自らが外戚となって政治を動かした。
- 太政大臣として朝廷の最高職に就くだけでなく、西日本各地に守護や地頭を派遣して地方の年貢を直接管理した。
- 院政を行っていた上皇を幽閉し、天皇の教育係となることで、次期天皇の指名権を独占した。
- 独自の軍役規定を設け、全国の武士に忠誠を誓わせることで、軍事力に基づいた専制政治を確立した。

問12 平安時代末期の年表において、平氏が権力を握っていた時期に行われた、中国の王朝との交流の名称と主導した人物の組み合わせとして正しいものはどれか。

(2026年 静岡県公立入試 類似)

- 日元貿易 — 平氏一門
- 日唐貿易 — 平清盛
- 日宋貿易 — 平将門
- 日宋貿易 — 平清盛

問13 平安時代初期に最澄や空海が伝えた新しい仏教は、奈良時代の仏教が政治に深く関わりすぎたことへの反省から、ある共通した特徴を持っていました。その特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。

(2019年 三重県公立入試 類似)

- 文字の読めない庶民のために、念仏を唱えるだけで救われると説くことを重視した。
- 海外との貿易を盛んに行い、寺院の資金を蓄えることを重視した。
- 都の中心部に巨大な寺院を築き、天皇の政治を直接補佐することを重視した。
- 人里離れた山の中に寺院を建て、厳しい修行を行うことを重視した。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 奈良の仏教勢力の政治介入を避け、天皇中心の律令政治を立て直すため。	奈良時代末期、僧の道鏡が皇位をうかがうなど、仏教勢力が政治に深く関与するようになっていました。桓武天皇は、こうした古い政治慣習や勢力の影響を断ち切り、律令の理想に基づいた政治を再生させるために、山背国（後の山城国）への遷都を強行しました。
問2	答え 1 奥州藤原氏	前九年の役・後三年の役という戦乱を経て、藤原清衡が平泉に拠点を築いたことが始まりです。清衡、基衡、秀衡の三代にわたり、京都の文化を取り入れつつも、独自の北方貿易や産金背景を持つ強力な勢力として約100年間の繁栄を誇りました。
問3	答え 3 阿弥陀仏の住む極楽浄土を現世に再現し、死後の救済を願うため	平安時代後期には、仏教の教えが衰える「末法思想」が広まり、人々の間で死後に救済を求める浄土信仰が流行しました。藤原頼通は、この信仰に基づいて阿弥陀如来を本尊とする平等院鳳凰堂を建立しました。庭園の池の中に建てられたその姿は、阿弥陀仏が住む理想郷である極楽浄土を、地上に視覚的に再現することを目指したものです。選択肢にある禅宗は鎌倉時代に広まったものであり、貿易利益や将軍の権威といった要素もこの建築の本来の目的とは異なります。
問4	答え 3 天皇の命令によって、国家の事業として編纂されたため	「勅撰」の「勅」は天皇の命令を意味します。古今和歌集は醍醐天皇の命により、紀貫之・紀友則・凡河内躬恒・壬生忠岑の4人が編纂者となってまとめられました。それまでの万葉集が私的な性格を持つのにに対し、国家的な文化事業として位置づけられている点が大きな特徴です。
問5	答え 4 自身の娘を次々と天皇の后にし、天皇の外祖父（母方の祖父）として絶対的な権力を手にしたから。	この歌は、道長の3人の娘が同時に皇后・皇太后・太皇太后という最高の地位に就いた祝宴の席で詠まれました。道長は4人の娘を天皇に嫁がせており、その子どもが次々と天皇になったことで、外戚としての地位を盤石なものにしました。「望月の歌」は、自らの権勢が絶頂に達し、何の不足もない状態であることを誇ったものです。
問6	答え 2 蝦夷	桓武天皇の時代、朝廷の支配に従わない東北地方の人々は「蝦夷（えみし）」と呼ばれていました。彼らを平定するための「軍事」と、平安京を造る「造作」は、どちらも莫大な費用と人手を要したため、国家財政や民衆に大きな負担をかけました。最終的に「徳政論争」と呼ばれる議論を経て、これらの事業は中止されることとなりました。
問7	答え 2 外戚（がいせき）関係	平清盛は、かつて藤原道長らが行った摂関政治の手法を取り入れました。娘を天皇の妃とし、その間に生まれた子（安徳天皇）を次の天皇に立てることで、天皇の母方の親戚である「外戚」として朝廷内での発言力を高め、政治の実権を掌握しました。これは武力による支配だけでなく、既存の公家社会の仕組みを利用した点が特徴です。
問8	答え 2 藤原純友	10世紀前半、地方政治の緩みから各地で武士が台頭し始めました。もともと伊予国（現在の愛媛県）の役人であった藤原純友は、瀬戸内海の高松を組織して朝廷に反旗を翻しました。同時期に関東で発生した平将門の乱とともに「承平・天慶の乱」と総称され、これらを鎮圧する過程で武士の力が中央に認識されるようになりました。
問9	答え 2 枕草子	平仮名の普及は、日本人の繊細な感情を表現することを可能にしました。一条天皇の中宮定子に仕えた清少納言は、鋭い観察眼で宮廷生活や自然の美しさを捉え、「枕草子」を著しました。同じ時期に紫式部が著した長編物語である「源氏物語」と並び、平安文学の最高峰とされています。
問10	答え 4 関白	藤原氏は天皇が幼少のときは「摂政」として政務を代行し、天皇が成人した後は「関白」として引き続き政治を補佐する体制を築きました。このように摂政や関白の職を独占して行われた政治を摂関政治と呼び、藤原道長やその子の頼通の時期に全盛期を迎えました。
問11	答え 1 自分の娘を天皇のきさき（后）とし、その間に生まれた子を天皇に立てることで、自らが外戚となって政治を動かした。	平清盛は、武士として初めて太政大臣という高い位に就くだけでなく、娘の徳子を高倉天皇のきさき（后）として入内させました。そして、その間に生まれた安徳天皇を幼くして即位させることで、自らが天皇の母方の祖父である「外戚」となり、政治的な主導権を握りました。これは平安時代に藤原氏が権力を維持するために用いた「摂関政治」と同じ手法です。
問12	答え 4 日宋貿易 ― 平清盛	平安時代末期に太政大臣として政権を掌握した平清盛は、瀬戸内海の航路を整備し、中国の宋王朝との間で日宋貿易を本格化させました。平将門は平安時代中期に関東で反乱を起こした人物であり、貿易を主導した事実はありません。また、当時の中国の王朝は宋（北宋・南宋）であり、唐や元とは時期が重なりません。
問13	答え 4 人里離れた山の中に寺院を建て、厳しい修行を行うことを重視した。	奈良時代には僧が政治に干渉する弊害が見られたため、平安時代初期の新しい仏教は、比叡山や高野山といった山の中に寺院を構え、世俗を離れて修行に専念するスタイルをとりました。これを山岳仏教と呼びます。

- 問1 平安時代末期に白河上皇によって始められた「院政」という政治体制の説明として、当時の政治の仕組みの変化をふまえた記述として最も適切なものはどれですか。 (2018年 神奈川県公立入試 類似)
1. 地方で成長した武士が、京都の朝廷から政治権力を完全に奪い、鎌倉に独自の政府を組織した。
 2. 天皇の母方の親戚である外戚が、天皇に代わって全ての政務を決定する摂関政治の形式をより強化した。
 3. 坂上田村麻呂が征夷大將軍に任命され、東北地方を平定することで天皇による全国支配を完成させた。
 4. 藤原氏が摂政や関白として権力を独占する仕組みを抑えるため、天皇の位を退いた上皇が政治の主導権を握った。
- 問2 平安時代の建築や彫刻は、当時の信仰と深く結びついていました。当時の代表的な建造物の特徴を説明した資料において、内部に阿弥陀如来像を安置し、壁画などで極楽浄土の様子を再現しようとした藤原氏ゆかりの建物は何ですか。 (2019年 静岡県公立入試 類似)
1. 法隆寺五重塔
 2. 鹿苑寺金閣
 3. 平等院鳳凰堂
 4. 東大寺大仏殿
- 問3 桓武天皇の時代から、のちの鎌倉幕府や江戸幕府の時代に至るまでの政治の拠点の変遷を考えたとき、平安京への遷都に関連する記述として正しいものを選びなさい。 (2026年 岡山県公立入試 類似)
1. 桓武天皇は、それまでの都であった長岡京から、山や川などの自然の防御に優れ、水運の便も良い平安京へ都を移した。
 2. 桓武天皇は、平氏による専制政治を打破するために、源頼朝と協力して平安京の造営を進めた。
 3. 桓武天皇は、海外貿易の利益を独占するために、平安京の中に管領と呼ばれる役職を置いて商業を統制した。
 4. 桓武天皇は、六波羅探題を設置して京都の監視を強め、西国の武士を統制するために平安京を利用した。
- 問4 平清盛が推進した日宋貿易に関する記述として、その背景や具体的な取り組みについて説明したものとして最も適切なものを選びなさい。 (2024年 石川県公立入試 類似)
1. 平氏は瀬戸内海の航路を掌握し、現在の神戸市にある大輪田泊を改修することで、宋の大型船が直接入港できる体制を整えた。
 2. 平氏は足利義満が始めた勘合貿易を参考に、倭寇による密貿易を防ぐための証明書を発行して、宋との公的な貿易を独占した。
 3. 平氏は唐の制度を取り入れるために大輪田泊を整備したが、菅原道真の建議によって貿易は一時中断されることとなった。
 4. 平氏は新羅や高句麗といった朝鮮半島の諸国との交易を重視し、日本海側の港を拠点として武器の輸出を盛んに行った。
- 問5 12世紀後半、平清盛は中国の宋（北宋・南宋）との貿易を積極的に進めるため、現在の神戸市にあたる瀬戸内海の要所に港を修築しました。この時、大型船が直接入港できるように整備された港の名称を次の中から選びなさい。 (2019年 福島県公立入試 類似)
1. 堺
 2. 大輪田泊
 3. 博多
 4. 長崎
- 問6 平安時代末期に政権を握った平清盛は、大陸との交流を重視しました。彼が経済的な基盤を固めるために推進した「日宋貿易」の説明として正しいものはどれか。 (2022年 千葉県公立入試 類似)
1. 倭寇と正規の貿易船を区別するために「勘合」と呼ばれる札を用い、明との間で貿易を行った。
 2. 瀬戸内海の航路や、現在の神戸市にあたる兵庫の港（大輪田泊）を整備し、宋の商船を招き入れた。
 3. 長崎などの港を拠点に、ポルトガル人やスペイン人と火縄銃や銀の取引を行った。
 4. 將軍から海外渡航の許可証である「朱印状」を与えられた商人が、東南アジア諸国と貿易を行った。
- 問7 平安時代初期、最澄が唐から伝えた仏教の宗派と、その修行の拠点となった場所の組み合わせとして正しいものを次の中から選びなさい。 (2024年 愛媛県公立入試 類似)
1. 天台宗 — 比叡山延暦寺
 2. 真言宗 — 比叡山延暦寺
 3. 真言宗 — 高野山金剛峯寺
 4. 天台宗 — 高野山金剛峯寺
- 問8 日本の歴史事項をまとめた年表において、11世紀の後半に「白河上皇が位をゆづった後も政治を行う体制を始めた」という記述がある場合、その政治体制の説明として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 藤原氏が娘を天皇の后にすることで、外戚として実権を握る政治
 2. 將軍が幕府を開き、守護や地頭を任命して全国の土地を支配する政治
 3. 律令に基づき、中央から派遣された国司が地方の行政を直接担当する政治
 4. 天皇が位を退いて上皇となり、摂政や関白の影響を受けずに自らの政治
- 問9 平安時代、藤原氏が天皇の幼少期には「摂政」、成人後には「関白」という職に就き、政治の実権を握った政治体制を何と呼びますか。 (2023年 岩手県公立入試 類似)
1. 摂関政治
 2. 親政
 3. 院政
 4. 執権政治
- 問10 平治の乱で源氏の源義朝らを破り、武士の政権を確立した平清盛が行った経済政策について述べた文として、背景や目的が正しく説明されているものはどれですか。 (2020年 山形県公立入試 類似)
1. ヨーロッパの文化や技術を取り入れるため、ポルトガルやスペインの船を長崎などの港に招いて南蛮貿易を行った。
 2. 明との正式な貿易を行うため、勘合と呼ばれる札を持たせた船を派遣し、倭寇との区別を明確にした。
 3. 宋との貿易を盛んにするため、瀬戸内海の航路を整備し、大輪田泊という港を改築して経済基盤を固めた。
 4. 東南アジアにまで商圏を広げるため、公印が押された渡航証を商人に与え、朱印船による貿易を保護した。
- 問11 国風文化における貴族の生活様式について、日本の気候や風土に合わせて発達した住居の形式を何と呼びますか。 (2015年 富山県公立入試 類似)
1. 高床住居
 2. 校倉造
 3. 書院造
 4. 寝殿造
- 問12 平安時代中期、息子の頼通とともに摂関政治の全盛期を築き、自身の栄華を「この世をば わが世とぞ思ふ 望月の 欠けたることもなしと思へば」という歌に詠んだ人物は誰か。 (2019年 北海道公立入試 類似)
1. 藤原道長
 2. 藤原良房
 3. 藤原頼通
 4. 藤原鎌足
- 問13 平安時代末期の東北地方における政治情勢と奥州藤原氏の関わりについて述べた文として、正しいものはどれか。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)
1. 藤原清衡が平泉を拠点に陸奥国の支配を確立し、金や馬などの特産品を通じて独自の勢力を築いた。
 2. 平氏が日宋貿易の拠点を東北に移し、平泉を国際的な貿易港として整備することで富を蓄えた。
 3. 足利氏が源氏の血筋を主張して東北地方の武士をまとめ、平泉を拠点に幕府を開いた。
 4. 北条氏が執権として実権を握り、平泉に東北地方を統括するための政庁を設置して支配を広げた。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 藤原氏が摂政や関白として権力を独占する仕組みを抑えるため、天皇の位を退いた上皇が政治の主導権を握った。	院政が始まった背景には、長年続いた藤原氏による摂関政治を打破し、天皇を中心とした皇室自らが政治を執り行う目的がありました。上皇は摂政や関白の役職を介さずに、自身の近臣や独自の軍勢力を背景に政治を運営しました。選択肢にある坂上田村麻呂は平安時代初期の人物であり、院政の時代背景とは異なります。
問2	答え 3 平等院鳳凰堂	藤原頼通が宇治に建立した平等院鳳凰堂は、当時の貴族が憧れた極楽浄土を地上に再現しようとした建築の代表例です。堂内には定朝が制作した阿弥陀如来像が安置されており、周囲の池や庭園と合わせて、死後の世界である浄土を視覚的に表現しています。
問3	答え 1 桓武天皇は、それまでの都であった長岡京から、山や川などの自然の防御に優れ、水運の便も良い平安京へ都を移した。	平安京は、北・東・西を山に囲まれ、鴨川や桂川といった河川を利用した水運にも適した地として選ばれました。遷都の直前は長岡京（京都府向日市など）が都でしたが、10年ほどで平安京へ移されています。平氏の打倒や源頼朝、六波羅探題、管領といった要素はいずれも後世の武家政治に関連する用語であり、8世紀末の桓武天皇の時代には存在しません。
問4	答え 1 平氏は瀬戸内海の航路を掌握し、現在の神戸市にある大輪田泊を改修することで、宋の大型船が直接入港できる体制を整えた。	平清盛はそれまで九州の大宰府で行われていた貿易を、自身の拠点に近い近畿圏に引き寄せようと考えました。そのため、瀬戸内海の航路を整備し、難所を工事するとともに、大輪田泊を修築して宋の商船が奥まで入れるようにしました。これにより、輸入した宋銭を国内で流通させるなど、強力な経済力を手に入れました。
問5	答え 2 大輪田泊	平清盛は、武士として初めて太政大臣の地位に就くと同時に、日宋貿易による経済力の強化を図りました。その際、瀬戸内海の航路を整備し、現在の兵庫県神戸市にあたる場所に「大輪田泊（おおわだのとまり）」を修築して、宋の商船が都の近くまで来られるようにしました。博多は九州の貿易拠点、長崎は江戸時代の出島、堺は室町時代以降に栄えた港町です。
問6	答え 2 瀬戸内海の航路や、現在の神戸市にあたる兵庫の港（大輪田泊）を整備し、宋の商船を招き入れた。	平清盛は、武士として初めて太政大臣の位に就くと、それまでの貴族とは異なり、貿易による経済的利益を重視しました。大型船が接岸できるように、現在の兵庫県神戸市にある大輪田泊を修築したことは、地理的にも重要な政策として知られています。他の選択肢にある勘合貿易は室町時代、朱印船貿易は安土桃山時代から江戸時代初期、南蛮貿易は戦国時代以降の出来事です。
問7	答え 1 天台宗 ― 比叡山延暦寺	最澄は平安時代の初めに遣唐使として中国（唐）に渡り、帰国後に天台宗を伝えました。彼は滋賀県と京都府の境に位置する比叡山に延暦寺を建立し、そこを修行の拠点としました。同時期に空海によって開かれた真言宗（高野山金剛峯寺）と混同しやすいため、人物・宗派・寺院の名称を正しく一致させることが重要です。
問8	答え 4 天皇が位を退いて上皇となり、摂政や関白の影響を受けずに自ら行う政治	院政は、藤原氏が摂政や関白として政治を主導した「摂関政治」を打破するために、白河上皇によって確立されました。上皇は天皇の在位中とは異なり、摂関家との血縁関係を重視する仕組みから自由な立場で政治を行うことができました。この体制はその後、鳥羽上皇や後白河上皇へと受け継がれ、約100年間にわたり政治の主導権を握ることとなりました。
問9	答え 1 摂関政治	藤原氏は自分の娘を天皇の后（きさき）とし、その子供を次の天皇に立てることで、天皇の母方の親戚（外戚）として強い権力を持ちました。天皇の成長に合わせて摂政や関白という役職を使い分け、一族で政治の中心を担ったことが特徴です。
問10	答え 3 宋との貿易を盛んにするため、瀬戸内海の航路を整備し、大輪田泊という港を改築して経済基盤を固めた。	平清盛は平氏の経済力を高めるために日宋貿易に注目しました。宋から輸入された宋銭は国内に流通し、後の貨幣経済の発展にも影響を与えました。この貿易を支えるため、瀬戸内海の航路を整備し、大輪田泊（現在の神戸市）を貿易港として完成させました。他の選択肢は室町時代の勘合貿易、安土桃山時代の朱印船貿易、南蛮貿易に関する記述です。
問11	答え 4 寝殿造	貴族の住居は、日本の高温多湿な気候に適応するため、風通しの良い「寝殿造」と呼ばれる様式になりました。中心となる「寝殿」から左右に「対の屋」が伸び、それらが廊下で結ばれ、南側には池のある美しい庭園が広がる、自然と調和した広大な造りが特徴です。これは、外見の重厚さよりも住み心地や四季の景観を重んじる、当時の日本独自の感性を反映しています。
問12	答え 1 藤原道長	自分の娘を天皇のきさきとし、その間に生まれた子が天皇になると、外祖父として政治の実権を握った。提示された歌は、自身の権力が満月（望月）のように欠けるところがないと誇ったものである。息子の頼通も長く権力を維持し、宇治に平等院鳳凰堂を建立したことで知られる。
問13	答え 1 藤原清衡が平泉を拠点に陸奥国の支配を確立し、金や馬などの特産品を通じて独自の勢力を築いた。	藤原清衡は、前九年の役・後三年の役という大きな戦乱を経て、陸奥国（現在の東北地方の大部分）における支配権を確立しました。平泉は北上川の舟運を利用できる交通の要所であり、この地を拠点に金や名馬を中央の朝廷や平氏に送ることで、政治的な地位と強大な経済力を維持しました。これにより、三代にわたって東北地方に独自の平和な時代をもたらしました。

- 問1 平安時代初期の仏教は、奈良時代の仏教が政治に深く関わったことへの反省から、人里離れた山奥に寺院を建立して厳しい修行を行うという特徴を持っていました。この時期に、現在の和歌山県にある高野山に金剛峯寺を建て、真言宗を広めた人物は誰ですか。 (2018年 静岡県公立入試 類似)
1. 最澄 2. 聖徳太子 3. 空海 4. 鑑真
-
- 問2 1053年、時の権力者であった藤原頼通が、仏教の浄土信仰に基づき、極楽浄土をこの世に再現しようとして現在の京都府宇治市に建立した建築物を選びなさい。 (2020年 福島県公立入試 類似)
1. 慈照寺銀閣 2. 姫路城天守 3. 平等院鳳凰堂 4. 法隆寺金堂
-
- 問3 奥州藤原氏が平泉に中尊寺金色堂のような大規模な寺院を建立し、都の文化を取り入れながら独自の文化を発展させることができた経済的な理由として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 愛媛県公立入試 類似)
1. 鎌倉幕府の執権から、東北地方の統治費用として多額の援助金を受けていたから。 2. この地域で産出される豊富な金や、馬などの北方特産物の交易によって莫大な富を得ていたから。 3. 大陸から伝わった最新の農業技術を導入し、米の生産高が全国で最も多かったから。 4. 瀬戸内海の海上交通を支配し、西日本各地の物資を独占的に扱っていたから。
-
- 問4 平安時代の社会情勢をまとめた記録において、地方で荘園の整理や拡大が進み、貴族の邸宅で寝殿造が流行していた時期に成立した作品として正しいものはどれですか。 (2022年 静岡県公立入試 類似)
1. 鴨長明が乱世の無常を記した『方丈記』 2. 清少納言が記した『枕草子』 3. 菅原道真が遣唐使の廃止を提案した際の『建議文』 4. 山上憶良らが詠んだ歌を収めた『万葉集』
-
- 問5 平安時代末期、平氏の棟梁である平清盛は、武士として初めて太政大臣に就任し、朝廷内で強大な権力を振るいました。清盛が権力を維持するためにとった手法として、清盛の娘である徳子を高倉天皇の後（きさき）とし、その間に生まれた安徳天皇を即位させたことが挙げられます。このように、天皇の母方の親戚として政治の実権を握る立場を何といいますか。 (2023年 京都府公立入試 類似)
1. 執権 2. 外戚 3. 関白 4. 摂政
-
- 問6 最澄が比叡山に延暦寺を建立した背景にある、仏教と国家の関係性についての説明として最も適切なものはどれですか。 (2018年 和歌山県公立入試 類似)
1. 仏教の力で国家を災いから守り、平和を維持しようと考えた。 2. 貴族一人ひとりの私的な繁栄を祈禱することを最大の目的とした。 3. 現世での利益を得るために、呪術的な儀式を最優先した。 4. 武士の台頭を抑えるために、独自の軍勢力を維持しようとした。
-
- 問7 平清盛が行った政策と、その地理的な関連性について述べた文として、正しいものを選びなさい。 (2019年 福島県公立入試 類似)
1. 瀬戸内海の航路を整備するとともに、現在の神戸市付近にある大輪田泊を修築して、宋との貿易の拠点とした。 2. 九州北部の博多のみを唯一の貿易港として限定し、外国の商人が瀬戸内海へ進入することを厳しく制限した。 3. 日本海側の航路を重視し、現在の石川県付近にある港を拠点として、大陸との間で北方貿易を盛んに行った。 4. 長崎に人工の島を築き、そこを窓口として宋の商人と限定的な取引を行う制度を整えた。
-
- 問8 10世紀から11世紀頃の日本において、唐との交流が途絶えた後に発達した「国風文化」の特色を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2022年 静岡県公立入試 類似)
1. かな文字が考案され、清少納言などの女性らによって随筆や物語が執筆された。 2. 禅宗の影響を強く受け、水墨画や枯山水の庭園といった簡素な美が好まれた。 3. 遣唐使によってもたらされた大陸的な様式が、建築や仏像制作の主流となった。 4. 武士の気風を反映し、軍記物語や力強い彫刻が数多く制作された。
-
- 問9 11世紀半ばの東北地方における豪族の反乱（前九年の役・後三年の役など）と、12世紀半ばに京都で起きた保元の乱・平治の乱を比較したとき、武士の役割の変遷について述べたものとして正しいものはどれですか。 (2018年 広島県公立入試 類似)
1. 朝廷の儀式を警備する名譽職から、各地の土地を直接支配して年貢を徴収する実務職へと限定された。 2. 大陸からの侵略を防ぐ国防の担い手から、天皇の側近として学問や文化を教える教育的な役割へと変化した。 3. 地方の反乱を鎮圧する役割から、中央政府である朝廷内の政争に関与する役割へと拡大した。 4. 有力な地主の土地を守る私兵から、仏教勢力の拡大を阻止するための宗教警察へと役割が変化した。
-
- 問10 日本の古代において、律令制をはじめとする国家体制が整備された背景と目的について述べた記述として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 山梨県公立入試 類似)
1. 民衆が政治に直接参加できる権利を保障し、話し合いによって国の重要事項を決定する民主的な仕組みを整えた。 2. 地方の有力な武士たちが自らの領地を確実に支配するため、共通のルールとして独自の法律を定めた。 3. 中国（唐）を中心とした東アジア諸国の優れた制度を学び、天皇を頂点とした中央集権的な国家を築こうとした。 4. ヨーロッパ諸国の憲法を参考に、国際社会で対等な貿易を行うための近代的な国家体制の構築を急いだ。
-
- 問11 平安時代に発達した、日本独自の文化の特徴を説明した文として、適切なものはどれか。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)
1. 雪舟によって大成された水墨画が、この時代の貴族たちの間で最も好まれる芸術作品となった 2. 漢字を簡略化したり変形させたりした仮名文字が工夫され、紀貫之らによる『古今和歌集』などの文学が盛んになった 3. 紫式部によって著された『源氏物語』は、当時の武士の生活や戦いの様子を生き生きと描いた物語として普及した 4. 書院造と呼ばれる建築様式が広まり、貴族の邸宅では畳を敷き詰めた部屋で連歌が楽しまれた
-
- 問12 平安時代の中期、遣唐使の廃止などを背景に、日本の風土や生活に合わせた独自の文化が発達しました。この文化の名称と、その時期に広く使われるようになった文字の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2017年 長崎県公立入試 類似)
1. 元禄文化 — 仮名文字 2. 国風文化 — 仮名文字 3. 東山文化 — 漢字 4. 天平文化 — 漢字
-
- 問13 広島県の沿岸部に位置し、満潮時には社殿全体が海に浮かんでいるように見える独創的な構造を持つ厳島神社について、その歴史的背景を説明したものとして適切なものはどれか。 (2025年 東京都公立入試 類似)
1. 北条時宗が、元軍の襲来を退けた後に、武士の精神的支柱とするため鎌倉時代の建築様式で再建した。 2. 聖徳太子が、大陸から伝わった仏教を広めるための拠点として、飛鳥時代に瀬戸内海の中心地に建立した。 3. 足利義満が、室町幕府の財政を潤した中国との貿易を記念し、当時の最新の建築技術を集約して造営した。 4. 平清盛が、宋との貿易による繁栄を背景に、自身の権勢と信仰を示すため平安時代末期に整備した。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 空海	平安時代初期、遣唐使として唐に渡った空海は、帰国後に高野山（和歌山県）を拠点として真言宗を開きました。これまでの都市型の仏教とは異なり、山の中で修行に励むスタイルは、当時の平安文化の大きな特色の一つとなりました。同じ時期に活躍した最澄は、比叡山に延暦寺を建てて天台宗を広めています。
問2	答え 3 平等院鳳凰堂	平安時代中期、仏教の教えが衰える「末法」の時代が来るとする末法思想が広まり、阿弥陀如来にすがって死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う浄土信仰が貴族の間で盛んになりました。藤原氏の全盛期を築いた藤原道長の子、頼通によって建立されたこの建築物は、当時の華やかな国風文化と信仰の結びつきを象徴しています。
問3	答え 2 この地域で産出される豊富な金や、馬などの北方特産物の交易によって莫大な富を得ていたから。	奥州藤原氏の財力の源泉は、現在の岩手県などで採掘された良質な砂金と、名馬やアザラシの毛皮といった北方の特産品でした。これらを京都の貴族への献上や、宋（中国）などの海外との貿易に用いることで、中央の文化を導入する経済的基盤を築きました。金色堂の装飾にふんだんに金が使われていることも、この背景を裏付けています。
問4	答え 2 清少納言が記した『枕草子』	平安時代中期、土地制度が変化して荘園が増加する一方で、都の貴族たちは国風文化を享受していました。この時期、清少納言はかな文字を用いて、当時の宮廷社会の雰囲気や自然観を『枕草子』という随筆にまとめました。『万葉集』は奈良時代、『方丈記』は鎌倉時代作品です。
問5	答え 2 外戚	平清盛は、かつて藤原氏が摂関政治において用いた手法を参考にしました。自分の娘を天皇の后にし、その子供（自分の孫）を天皇として即位させることで、天皇の祖父にあたる「外戚」という立場を築き、政治的な発言力を強めました。これにより、平氏一門は朝廷の重要な役職を独占することに成功しました。
問6	答え 1 仏教の力で国家を災いから守り、平和を維持しようと考えた。	最澄が比叡山に拠点を構えた背景には、鎮護国家の思想がありました。これは仏教が国家の保護を受ける代わりに、仏教の教えや修行によって国を安定させるという役割を担うものです。平安京の北東という方位に建立されたことも、都を災いから守るという意図が含まれていました。当時の仏教は、個人的な欲望を満たすための「現世利益」や特定の階級の繁栄よりも、まずは国家全体の守護という公的な性格が重視されていました。
問7	答え 1 瀬戸内海の航路を整備するとともに、現在の神戸市付近にある大輪田泊を修築して、宋との貿易の拠点とした。	平清盛は、自身の領地があった西国と都を結ぶ瀬戸内海の交通網を重視しました。音戸の瀬戸（広島県）などの難所を工事し、さらに現在の兵庫県に位置する大輪田泊を改築することで、宋の船を九州からさらに奥の近畿地方まで引き込み、物流の効率化と利益の独占を図りました。博多は平安時代を通じて重要な拠点でしたが、清盛は大輪田泊を重視した点が特徴的です。
問8	答え 1 かな文字が考案され、清少納言などの女性らによって随筆や物語が執筆された。	遣唐使の廃止後、日本の風土や生活に合わせた「国風文化」が花開きました。特に漢字を簡略化した「かな文字」の成立は大きく、これによって清少納言の『枕草子』に代表される随筆や、和歌、物語といった女性による優れた宮廷文学が数多く生み出されました。
問9	答え 3 地方の反乱を鎮圧する役割から、中央政府である朝廷内の政争に関与する役割へと拡大した。	11世紀の東北地方での紛争は、地方支配をめぐる豪族の反乱を武士が鎮圧するという構図でしたが、12世紀の京都での乱は、朝廷の中枢における権力闘争に武士が加担するものでした。この変遷は、武士が単なる「地方の軍事力」から「国家の政治を左右する勢力」へと成長した過程を示しています。
問10	答え 3 中国（唐）を中心とした東アジア諸国の優れた制度を学び、天皇を頂点とした中央集権的な国家を築こうとした。	古代の日本では、東アジアの先進的な文明や制度を積極的に取り入れることで、国家の基盤を固めました。特に中国の唐の制度に倣った「律令」を制定したことで、天皇が全国の土地と人民を直接支配する公地公民の原則に基づく、中央集権的な国家体制（律令国家）が目指されました。武士が政治の主役となるのは中世以降であり、民衆による民主的な運営という視点もこの時代には当てはまりません。
問11	答え 2 漢字を簡略化したり変形させたりした仮名文字が工夫され、紀貫之らによる『古今和歌集』などの文学が盛んになった	国風文化の時代には、日本語の音を表現するために漢字を崩した「平仮名」や、漢字の一部を取った「片仮名」が作られました。これにより、紀貫之らによる『古今和歌集』や、紫式部による『源氏物語』などの優れた仮名文学が数多く生み出されました。また、こうした物語の場面は、後に『源氏物語絵巻』などの絵巻物としても描かれました。
問12	答え 2 国風文化 ― 仮名文字	894年に遣唐使が停止された後、それまでの中央集権的な唐風の文化から、日本の気候や日本人の感覚に合った「国風文化」が発展しました。この時期に漢字を崩して作られた「仮名文字」が発明されたことで、和歌や物語などの文学を通じて、日本人の繊細な感情が自由に表現できるようになりました。
問13	答え 4 平清盛が、宋との貿易による繁栄を背景に、自身の権勢と信仰を示すため平安時代末期に整備した。	平安時代末期、武士として初めて太政大臣となった平清盛は、安芸国（現在の広島県）の厳島神社を平氏の一族の守り神として篤く信仰しました。清盛は日宋貿易によって得た莫大な富を背景に、それまでの常識を覆す海上に建つ壮麗な社殿を完成させました。この建築には、当時の貴族文化を象徴する寝殿造の様式が取り入れられており、平氏が武士でありながら貴族的な性格を併せ持っていたことを象徴しています。他の選挙地にある聖徳太子や足利義満、北条時宗は、建立の時期や目的が事実と合致しません。

- 問1 平安時代中期の「国風文化」において、日本の気候や風土に合わせて発展した建築様式の説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2025年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 畳を敷き詰め、障子やふすまで部屋を細かく仕切った実用的なつくり | 2. 外敵の侵入を防ぐために石垣や堀をめぐらせ、壁を厚くした堅牢なつくり | 3. 急な傾斜の屋根を持ち、屋根裏で養蚕を行うことができる山間部のつくり | 4. 中心の建物から廊下を伸ばし、庭園の池を見渡せる開放的なつくり |
|------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|
- 問2 平清盛は、娘の徳子を高倉天皇に嫁がせ、その間に生まれた子供を天皇として即位させることで権力を確立しました。この時、清盛が「外戚」という立場で後見した天皇は誰ですか。 (2021年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|---------|---------|
| 1. 後醍醐天皇 | 2. 崇徳天皇 | 3. 安徳天皇 | 4. 白河天皇 |
|----------|---------|---------|---------|
- 問3 平安時代初期、桓武天皇は律令制度の立て直しを図るため、地方政治の乱れを正そうとしました。その一環として、任期を終えた国司が交代する際の事務引き継ぎを厳しく審査するために設置された役職（勘解由使）の背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 国司が交代する際に不正を行い、私腹を肥やすなどの問題が多発し、税の徴収に支障が出ていたため | 2. 国司が東北地方の蝦夷と独自に和平交渉を行い、朝廷への納税を免除する約束を交わしていたため | 3. 国司が九州の沿岸警備を担当する防人の指揮を拒否し、地方の守りが弱体化していたため | 4. 国司が中央政府の許可を得ずに独自の軍隊を組織し、平安京の警護を脅かす事態となっていたため |
|--|---|---|---|
- 問4 日本の有形文化財の分類において、奈良県の東大寺の大仏と並び、東北地方の代表的な歴史的建造物として岩手県に現存する中尊寺金色堂があります。この建物を建立し、本拠地である平泉を拠点として12世紀に三代にわたって繁栄した一族を選んでください。 (2024年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|--------|-------|-----------|
| 1. 奥州藤原氏 | 2. 北条氏 | 3. 平氏 | 4. 太宰府の官人 |
|----------|--------|-------|-----------|
- 問5 平清盛が行った、武家政権としての経済的な基盤を強化するための政策として最も適切な説明を、次の中から選びなさい。 (2026年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 新皇と自称して関東に独自の朝廷を樹立し、地方独自の税制を確立しようとした。 | 2. 全国に守護と地頭を設置し、各地の軍事権と警察権を掌握することで徴税を安定させた。 | 3. 有力な御家人による合議制を導入し、裁判の公平性を高めることで経済活動を活性化させた。 | 4. 現在の神戸市にあたる大輪田泊を修築し、中国の宋との貿易を積極的に進めて富を蓄えた。 |
|--|---|---|--|
- 問6 摂政・藤原道長の子である藤原頼通は、京都の宇治に阿弥陀堂を建立しました。池の中島に建てられ、屋根の上に鳳凰が据えられたこの「平等院鳳凰堂」という建築物は、当時のどのような思想や背景を反映して造られたと考えられますか。最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 浄土信仰に基づき、人々が憧れた極楽浄土の様子をこの世に再現しようとした | 2. 遣唐使が廃止されたことで、大陸の影響を完全に排除した日本独自の寺院様式を確立しようとした | 3. 武士が政治の実権を握り始めたため、質素で力強い建築様式を民衆に示そうとした | 4. 日本全国に仏教を広めるための拠点として、地方から役人を呼び寄せる講堂として活用しようとした |
|--|---|--|--|
- 問7 平安時代、894年に遣唐使が停止されたことをきっかけとして、日本独自の風土や感覚に合わせた文化が発達しました。この文化の名称として正しいものはどれですか。 (2021年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 飛鳥文化 | 2. 桃山文化 | 3. 国風文化 | 4. 天平文化 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問8 11世紀後半から始まった、天皇が位をゆずって上皇（太上天皇）となったあとも、引き続き政務を執り行う政治の形態を何と呼びますか。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|-------|---------|
| 1. 公武合体 | 2. 院政 | 3. 親政 | 4. 摂関政治 |
|---------|-------|-------|---------|
- 問9 平安時代の中期、遣唐使の廃止などを背景に、日本の風土や生活に合わせた「国風文化」が生まれました。この時代に、漢字を簡略化したり一部を用いたりして考案された、日本語の音を表記するための文字を何といいますか。 (2016年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|-------|
| 1. 万葉仮名 | 2. 甲骨文字 | 3. かな文字 | 4. 梵字 |
|---------|---------|---------|-------|
- 問10 東北地方に独自の文化を築いた奥州藤原氏が、鎌倉時代初期に滅亡へと追い込まれた背景について述べたものとして正しいものはどれですか。 (2021年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--|---------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 源頼朝と対立した源義経をかくまったことを理由に、軍事攻撃を受けたため | 2. 自由な商工業を重視する政策が、当時の朝廷が定めた律令制度に違反したため | 3. 足利尊氏による新しい政治体制の樹立を拒み、武家勢力の反感を買ったため | 4. 鎌倉幕府を樹立しようとする平清盛の勢力拡大に巻き込まれたため |
|---------------------------------------|--|---------------------------------------|-----------------------------------|
- 問11 平安時代に行われた「院政」と「摂関政治」の違いについて述べた説明として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 院政は聖武天皇が仏教の力で国を治めようとした政治であり、摂関政治は白河上皇が始めた新しい政治体制である。 | 2. 院政は平氏や源氏などの武士が中心となって行う政治であり、摂関政治は公家を中心となって行う政治である。 | 3. 院政は鎌倉に幕府を開いて行われた政治であり、摂関政治は京都の御所を中心に行われた政治である。 | 4. 院政は天皇が位を譲って上皇となった後に実権を握る政治であり、摂関政治は藤原氏が摂政や関白として政治を行う体制である。 |
|---|---|---|---|
- 問12 平安時代初期、桓武天皇の命を受けた坂上田村麻呂が東北地方への遠征を行った理由と、その際に与えられた役職の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------|-------------------------------------|---|
| 1. 全国の戸籍を作成し租税を徴収するため、国司（こくし）に任命された。 | 2. 北九州の防備を固めるため、防人（さきもり）に任命された。 | 3. 近畿地方の寺院の勢力を抑えるため、関白（かんぱく）に任命された。 | 4. 東北地方の蝦夷（えみし）を服従させ支配を広げるため、征夷大將軍に任命された。 |
|--------------------------------------|---------------------------------|-------------------------------------|---|
- 問13 8世紀には漢字の音や訓を借りて日本語を表記する「万葉仮名」が用いられていましたが、10世紀から11世紀にかけて『源氏物語』などの文学作品が生まれる中で、日本独自の感情を細やかに表現するために広く普及したものは何ですか。 (2016年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------|----------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 武士が戦功を記録するために考案した「記号文字」 | 2. 僧侶が経典を読み解くために新しく発明した「梵字（ぼんじ）」 | 3. 大陸の言葉をそのまま公用語として用いるための「漢文体」 | 4. 漢字を簡略化したり一部を抜き出したりして作られた「かな文字」 |
|----------------------------|----------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 中心の建物から廊下を伸ばし、庭園の池を見渡せる開放的なつくり	遣唐使の廃止によって日本の独自の文化である「国風文化」が発達しました。寝殿造は、壁が少なく御簾（みす）や屏風で空間を仕切る開放的な構造が特徴です。これは、日本の夏の蒸し暑さをしのぐための工夫でもありました。他の選択肢にある「畳を敷き詰め、障子やふすまで仕切る」形式は、のちの書院造の特徴です。
問2	答え 3 安徳天皇	平清盛は、自身の娘である徳子を天皇の后とすることに成功しました。徳子と高倉天皇の間に生まれた子が安徳天皇です。清盛は、自分の孫にあたる安徳天皇を即位させることで、天皇に近い親族（外戚）として政治に大きな影響力を及ぼしました。これにより、平氏は「平氏にあらざれば人にあらず」と言われるほどの全盛期を築くことになります。
問3	答え 1 国司が交代する際に不正を行い、私腹を肥やすなどの問題が多発し、税の徴収に支障が出ていたため	律令制度が始まってから年月が経つにつれ、地方政治を担当する国司の間で公金の着服や公文書の捏造といった不正が目立つようになりました。桓武天皇は、こうした政治の腐敗を正して国家の収入を安定させるため、国司の交代時に厳しいチェックを行う勘解由使を設置し、地方行政の引き締めを図りました。
問4	答え 1 奥州藤原氏	現在の岩手県平泉町を本拠地とした奥州藤原氏は、清衡、基衡、秀衡の三代にわたり、東北地方で独自の文化を築き上げました。中尊寺金色堂は、その繁栄を象徴する豪華な阿弥陀堂であり、奥州で産出された豊富な金がふんだんに使われています。選択肢にある太宰府は九州の政治拠点であり、平泉とは地理的に全く異なる場所です。
問5	答え 4 現在の神戸市にあたる大輪田泊を修築し、中国の宋との貿易を積極的に進めて富を蓄えた。	平清盛は、武力だけでなく経済力も重視しました。現在の神戸市にある大輪田泊（兵庫の港）を大規模に改修し、中国の宋との間で日宋貿易を推進しました。この貿易によって大量の宋銭や高級品がもたらされ、平氏が権勢を誇るための大きな財源となりました。
問6	答え 1 浄土信仰に基づき、人々が憧れた極楽浄土の様子をこの世に再現しようとした	平等院鳳凰堂は、当時盛んであった浄土信仰の集大成ともいえる建築物です。貴族たちは末法思想による不安から、死後の救済を強く願っていました。そのため、藤原頼通は阿弥陀如来像を安置した豪華な阿弥陀堂を、池を中心とした美しい庭園の中に配することで、経典に描かれた「極楽浄土」の世界を具体的に表現しようとしたのです。これは平安時代の国風文化を象徴する出来事でもあります。
問7	答え 3 国風文化	菅原道真の建議によって遣唐使が停止されたことで、中国（唐）の影響を受けつつも、日本の風土や生活感覚に合わせた独自の「国風文化」が開花しました。この時期には、漢字を簡略化した「かな文字」が発明され、日本人の心情を豊かに表現できるようになりました。
問8	答え 2 院政	白河上皇が1086年に始めた政治体制です。それまでの藤原氏が摂政や関白として権力を振るった「摂関政治」とは異なり、天皇の位を後継者に譲ったあとの「上皇」が、独自の役所（院庁）を置いて実権を握り続けました。これにより摂関家の影響力を弱める狙いがありました。
問9	答え 3 かな文字	平安時代、これまでの中国文化を十分に吸収した上で、日本独自の文化である国風文化が成立しました。漢字を崩して書いた「ひらがな」や、漢字の一部をとった「カタカナ」からなる「かな文字」が使われるようになったことで、日本人の繊細な感情や生活の様子を表現できるようになりました。
問10	答え 1 源頼朝と対立した源義経をかくまったことを理由に、軍事攻撃を受けたため	源頼朝は、対立した弟の源義経が平泉へ逃げ込んだことをきっかけに、奥州藤原氏への攻撃を開始しました。しかし、その背景には義経の保護という口実だけでなく、当時東北地方で独立した強大な勢力を持っていた奥州藤原氏を排除し、全国的な支配を確立したいという頼朝の政治的な目的がありました。
問11	答え 4 院政は天皇が位を譲って上皇となった後に実権を握る政治であり、摂関政治は藤原氏が摂政や関白として政治を行う体制である。	摂関政治は、藤原氏が娘を天皇の妃にし、生まれた子を天皇に立てて、その母方の祖父（外戚）として摂政や関白の地位に就き実権を握る仕組みでした。これに対し、院政は藤原氏と血縁関係の薄い後三条天皇の後の白河上皇が、藤原氏の影響を排除するために自ら政治を主導した仕組みを指します。
問12	答え 4 東北地方の蝦夷（えみし）を服従させ支配を広げるため、征夷大將軍に任命された。	律令国家の体制を整えようとした朝廷は、支配が及んでいなかった東北地方へ勢力を拡大しようとしていました。桓武天皇によって征夷大將軍に任命された坂上田村麻呂は、胆沢城（現在の岩手県）を築くなどして、東北地方北部まで朝廷の支配領域を広げる役割を担いました。
問13	答え 4 漢字を簡略化したり一部を抜き出したりして作られた「かな文字」	国風文化の大きな特徴の一つに、日本独自の文字である「かな文字（平仮名・片仮名）」の普及があります。それまでの万葉仮名に比べ、日本語の音や微妙な感情を表現しやすくなったため、紫式部の『源氏物語』や清少納言の『枕草子』といった、優れた女流文学が数多く生み出されました。これは文化が「大陸の模倣」から「日本の生活に根ざしたもの」へ変化した象徴的な出来事です。

- 問1 平安時代に「かな（仮名文字）」が作られ、広く普及したことが、当時の日本の文化に与えた影響として最も適切な説明はどれですか。（2019年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 中国の進んだ政治制度や仏教の教典を、より正確に日本国内へ紹介することが可能になった。
 2. 朝鮮半島から伝わった新しい印刷技術と結びつき、庶民の間で学問が急速に普及した。
 3. 日本人の感情や思いを表現しやすくなり、物語、随筆、和歌などの日本独自の文学が大きく発展した。
 4. 武士が戦場での出来事を素早く記録するための実用的な文字として、東国を中心に広まった。
- 問2 1185年に、現在の山口県下関市付近にある本州と九州の境目の海域で行われた、源氏と平氏による最終決戦の名称として正しいものを選びなさい。（2019年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 壇ノ浦の戦い
 2. 屋島の戦い
 3. 一の谷の戦い
 4. 長篠の戦い
- 問3 平安時代中期、遣唐使の廃止に伴い、それまでの唐の影響を消化した上で、日本の風土や生活、日本人の感情に合わせた独自の文化が発達しました。この文化が形成された背景と特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 島根県公立入試 類似）
1. 聖武天皇による国家鎮護の思想に基づき、大陸の最新技術を用いた大規模な寺院建築が中心となった。
 2. 日宋貿易の拡大によって、禅宗の影響を受けた簡素で静かな美しさを尊ぶ文化が形成された。
 3. 唐の衰退により直接的な交流が減少したことで、日本独自の美意識に基づいた表現が重視されるようになった。
 4. 平氏の政権掌握により、武士の力強さや素朴さを強調した新しい文化が京都を中心に広がった。
- 問4 平安時代中期、遣唐使の廃止などを背景に、日本の風土や生活に合わせた「国風文化」が発達しました。この時期に普及した「かな文字」を用いて執筆された、紫式部による文学作品として適切なものはどれですか。（2018年 埼玉県公立入試 類似）
1. 古事記
 2. 源氏物語
 3. 枕草子
 4. 日本書紀
- 問5 藤原道長が、「この世をば わが世とぞ思う 望月の 欠けたることもなしと思えば」という歌を詠んだ時期の背景として、最も適切なものはどれか。（2016年 千葉県公立入試 類似）
1. 律令制度が崩壊するなかで、独自の新しい法律を制定し、天皇に代わって直接国を統治するようになった。
 2. 自らの三人の娘がそれぞれ天皇のきさきとなり、摂政・関白として権力の絶頂に達していた。
 3. 源氏や平氏といった武士の台頭を抑え込み、貴族だけの平和な世の中を維持することに成功した。
 4. 末法思想が広まり社会が不安に包まれるなか、極楽浄土へ行ける確信を得たことを感謝した。
- 問6 11世紀半ば、社会の乱れとともに仏教の教えが衰える時代の到来を恐れる「末法思想」が広まり、阿弥陀如来を信じて死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う信仰が盛んになりました。この信仰に基づき、当時の摂政・関白の権勢を背景として京都の宇治に建立された建築物として正しいものはどれですか。（2018年 岡山県公立入試 類似）
1. 聖武天皇が国家の平安を祈って全国に建立を命じた、壮大な伽藍をもつ国分寺
 2. 親鸞が念仏を唱えることで救われると説き、各地に広まった浄土真宗の本山寺院
 3. 足利義満が金閣を建立したことに代表される、武家文化と公家文化が融合した北山文化の建築
 4. 極楽浄土の宮殿を模して造られ、阿弥陀如来像が安置された平等院鳳凰堂
- 問7 894年に、唐の国内情勢の混乱や往復する航路の危険性を理由として、遣唐使の派遣が停止されました。この政策転換を主導した人物と、その後発達した日本独自の文化の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2022年 愛媛県公立入試 類似）
1. 小野妹子 — 飛鳥文化
 2. 最澄 — 弘仁・貞観文化
 3. 菅原道真 — 国風文化
 4. 阿倍仲麻呂 — 天平文化
- 問8 京都の宇治に現存する平安時代の代表的な文化財について、その外観や特徴を説明した文として最も適切なものを選びなさい。（2025年 群馬県公立入試 類似）
1. 藤原頼通が建立した阿弥陀堂で、中央の堂の左右に翼を広げたような回廊を配した左右対称の構造を持ち、正面には極楽浄土を模した池が広がっている。
 2. 最澄が比叡山に建立した寺院の中心的建築であり、当時の学問と修行の拠点として、後の鎌倉新仏教の開祖たちを多く輩出した。
 3. 鎌倉時代に重源が再建した建築物で、屋根を支えるための複雑な組合物が特徴であり、門内には力強い表情をした金剛力士像が安置されている。
 4. 藤原清衡が建立した建物で、堂の内部から外部に至るまで金箔で覆われており、東北地方における浄土信仰の広まりを象徴している。
- 問9 平安時代の仏教に関する記述のうち、最澄と彼が創始した宗派について正しく述べているものはどれですか。（2019年 三重県公立入試 類似）
1. 唐から帰国後、比叡山に延暦寺を建立して、天台宗の教えを広めた。
 2. 遣隋使とともに中国へ渡り、日本で初めてとなる本格的な仏教の戒律を伝えた。
 3. 全国を行脚して治水工事や橋の建設を行い、庶民から「行基」と慕われた。
 4. 唐から帰国後、高野山に金剛峰寺を建立して、真言宗の教えを広めた。
- 問10 日宋貿易を推進した人物と、貿易の拠点となった港、および主な輸入品の組み合わせとして正しいものはどれか。（2022年 神奈川県公立入試 類似）
1. 足利義満 — 堺 — 銅銭
 2. 平清盛 — 大輪田泊 — 宋銭
 3. 北条時宗 — 博多 — 鉄砲
 4. 源頼朝 — 敦賀 — 勘合
- 問11 奈良時代には『万葉集』に見られるように、漢字の音や訓を日本語の表記にあてはめた「万葉仮名」が使われていましたが、平安時代になると、漢字を簡略化するなどして日本独自の文字が作られました。この文字が普及したことで、人々の感情や生活を細やかに表現できるようになった日本独自の文化を何と呼びますか。（2019年 長野県公立入試 類似）
1. 国風文化
 2. 飛鳥文化
 3. 天平文化
 4. 弘仁・貞観文化
- 問12 中世の日本において、現在の青森県に位置し、アイヌの人々との交易の拠点として大きく栄えた港町はどこですか。岩手県の平泉を拠点とした奥州藤原氏とも深い関わりがあったとされる場所を、次のうちから選びなさい。（2016年 茨城県公立入試 類似）
1. 堺
 2. 博多
 3. 敦賀
 4. 十三湊
- 問13 平安時代中期、社会の不安や「仏教の教えだけが残り、修行して悟りを開く者がいなくなる」という末法思想が広まる中で、阿弥陀仏にすがって死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う信仰が盛んになりました。この信仰と、それを象徴する建物として藤原頼通が建立した阿弥陀堂の名称の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2017年 大分県公立入試 類似）
1. 禅宗 — 鹿苑寺金閣
 2. 真言宗 — 延暦寺根本中堂
 3. 法華信仰 — 中尊寺金色堂
 4. 浄土信仰 — 平等院鳳凰堂

答え合わせ・解説

問1	答え 3 日本人の感情や思いを表現しやすくなり、物語、随筆、和歌などの日本独自の文学が大きく発展した。	かな文字（仮名文字）の成立は、それまでの漢字中心の文化から、日本の生活習慣や感情に即した「国風文化」への転換を象徴する出来事です。漢字は主に公文書や男性の記録に使われましたが、かな文字によって日常の心情を細やかに表現できるようになり、紫式部や清少納言といった女性作家による文学作品が数多く生まれ、日本独自の文化の土台が築かれました。
問2	答え 1 壇ノ浦の戦い	本州と九州を隔てる関門海峡の山口県側にある壇ノ浦で行われた戦いです。この戦いによって、平安時代末期に大きな勢力を誇った平氏が滅亡し、源氏による武家政権の樹立に向けた大きな転換点となりました。
問3	答え 3 唐の衰退により直接的な交流が減少したことで、日本独自の美意識に基づいた表現が重視されるようになった。	894年に菅原道真の建議によって遣唐使が停止されたことで、大陸文化の直接的な流入が落ち着きました。その結果、それまで取り入れてきた唐の文化を日本の生活様式や好みに合わせて作り変える動きが強まり、かな文字の使用や寝殿造の建築、和歌の隆盛といった「国風文化」が発展しました。
問4	答え 2 源氏物語	遣唐使の停止によって中国文化の影響が薄れる中、日本独自の感性を表現する平仮名が発達しました。これにより貴族の女性による文学活動が盛んになり、紫式部が『源氏物語』を、清少納言が『枕草子』を執筆しました。選択肢にある『古事記』や『日本書紀』は、律令国家の形成期である奈良時代に編纂されたものです。
問5	答え 2 自らの三人の娘がそれぞれ天皇のきさきとなり、摂政・関白として権力の絶頂に達していた。	この歌は、藤原道長の三女である威子が天皇の中宮（きさき）になった際の祝宴で詠まれたものです。道長は自分の娘を次々と天皇の后にすることで、後の天皇の祖父という確固たる地位を築きました。この満月（望月）に例えた表現は、摂関政治が最も繁栄した時期の様子を象徴しています。道長と、その後の頼通の父子の時代が、藤原氏の全盛期にあたります。
問6	答え 4 極楽浄土の宮殿を模して造られ、阿弥陀如来像が安置された平等院鳳凰堂	平安時代後期、藤原氏の氏長者であった藤原頼通によって宇治に建立されたのが平等院鳳凰堂です。当時流行した「浄土信仰（浄土教）」を背景に、現世に極楽浄土を再現しようとする意図がありました。国分寺は奈良時代、親鸞は鎌倉時代、金閣は室町時代に関連する事象です。
問7	答え 3 菅原道真 — 国風文化	菅原道真は、唐の衰退という国際情勢を的確に判断し、遣唐使の停止を建議しました。これにより大陸文化の直接的な影響が薄まり、日本の風土や感性に合わせた「国風文化」が花開くこととなりました。かな文字の発明や、住居様式の寝殿造などはその代表的な例です。
問8	答え 1 藤原頼通が建立した阿弥陀堂で、中央の堂の左右に翼を広げたような回廊を配した左右対称の構造を持ち、正面には極楽浄土を模した池が広がっている。	平等院鳳凰堂は、翼を広げた鳥のような左右対称の美しい建築様式が特徴です。建物の前には大きな池が配置されており、これは「浄土庭園」と呼ばれ、当時の人々が理想とした極楽浄土の世界観を視覚的に表現したものです。他の選択肢は、順に中尊寺金色堂、比叡山延暦寺、東大寺南大門の説明です。
問9	答え 1 唐から帰国後、比叡山に延暦寺を建立して、天台宗の教えを広めた。	最澄は天台宗を、空海は真言宗をそれぞれ唐から伝えました。最澄の拠点は比叡山延暦寺、空海の拠点は高野山金剛峰寺です。この区別は入試で非常によく問われるポイントです。
問10	答え 2 平清盛 — 大輪田泊 — 宋銭	日宋貿易は、平氏の全盛期を築いた平清盛によって行われました。清盛は現在の神戸市にあたる大輪田泊を国際貿易港として整備し、宋から宋銭や陶磁器などを輸入しました。足利義満が関わったのは室町時代の日明貿易であり、鉄砲の伝来は戦国時代、勘合（符）は明との貿易で偽造を防ぐために使われた道具です。
問11	答え 1 国風文化	遣唐使の廃止などを背景に、日本の風土や生活に合わせた独自の文化が発展しました。これを国風文化と呼びます。この時代、万葉仮名を崩したり一部を取ったりすることで、日本独自の文字である「かな文字」が生まれ、和歌や物語などの文学が発展する大きな要因となりました。
問12	答え 4 十三湊	青森県に位置する十三湊（とさみなと）は、中世において北方貿易の拠点として繁栄しました。ここではアイヌの人々との交易が盛んに行われており、奥州藤原氏の勢力圏やその後の北方の歴史において、人や物の往來を支える重要な役割を果たしました。選択肢の堺は大阪府、博多は福岡県の港町です。
問13	答え 4 浄土信仰 — 平等院鳳凰堂	平安時代中期には、戦乱や飢饉などの社会不安から「末法思想」が流行しました。これに伴い、念仏を唱えて阿弥陀仏にすがり、死後に「極楽浄土」へ導いてもらうことを願う浄土信仰が、貴族から庶民まで広く浸透しました。摂政の藤原頼通は、この極楽浄土の様子をこの世に再現しようと考え、宇治に平等院鳳凰堂を建立しました。鹿苑寺金閣は室町時代の足利義満による建築であり、延暦寺是最澄が開いた天台宗の寺院です。

- 問1 10世紀から11世紀にかけての日本の文化において、漢字を簡略化して作られ、貴族の生活や感情を自由に表現することを可能にした文字と、その文字を用いて執筆された文学作品の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| 1. ハングル — 『奥の細道』や『曽根崎心中』 | 2. カタカナ — 『徒然草』や『平家物語』 | 3. 万葉仮名 — 『万葉集』や『日本書紀』 | 4. かな文字 — 『源氏物語』や『枕草子』 |
|--------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
-
- 問2 平安時代後期に始まった、天皇が位を譲って退位した後も、その住まいにおいて「上皇」として政治の実権を握る体制を何といいますか。 (2018年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|---------|---------|---------|
| 1. 院政 | 2. 執権政治 | 3. 幕府政治 | 4. 摂関政治 |
|-------|---------|---------|---------|
-
- 問3 平安時代初期、僧の最澄は唐へ渡って仏教を学び、帰国後に新しい宗派を広めました。彼が修行の拠点として比叡山に建立し、後に多くの高僧を輩出することになった寺院の名称と、その宗派の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|------------|------------|------------|
| 1. 真言宗・金剛峯寺 | 2. 時宗・清浄光寺 | 3. 浄土宗・知恩院 | 4. 天台宗・延暦寺 |
|-------------|------------|------------|------------|
-
- 問4 藤原道長が活躍した平安時代中期には、社会不安を背景に「念仏を唱えて阿弥陀如来にすがり、死後に極楽浄土へ生まれ変わる」という考え方が貴族から民衆にまで広まりました。この信仰を何といいますか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|---------|---------|---------|
| 1. 禅宗 | 2. 本地垂迹 | 3. 法華信仰 | 4. 浄土信仰 |
|-------|---------|---------|---------|
-
- 問5 平安時代、最澄は唐から帰国した後に比叡山を拠点として天台宗を広めました。この時代に行われた仏教の動きについて、最澄と同時期に活躍した人物とその宗派の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2019年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------|--------------------------------|-------------------------------|--------------------------|
| 1. 空海が、高野山に金剛峯寺を建てて真言宗を広めた | 2. 日蓮が、法華経の教えを重んじて日蓮宗（法華宗）を開いた | 3. 親鸞が、浄土真宗（一向宗）を説いて民衆の救済を図った | 4. 一遍が、踊り念仏を通じて時宗を各地に広めた |
|----------------------------|--------------------------------|-------------------------------|--------------------------|
-
- 問6 平安時代後期、白河天皇が幼少の皇子に位を譲った後、上皇として自ら政治を主導した体制を何と呼ぶか、名称として正しいものを書きなさい。 (2017年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|---------|---------|
| 1. 院政 | 2. 親政 | 3. 摂関政治 | 4. 武家政治 |
|-------|-------|---------|---------|
-
- 問7 保元の乱・平治の乱を勝ち抜いて武士として初めて太政大臣となり、大輪田泊（現在の神戸市）を整備して行われた貿易と、その中心人物の組み合わせとして正しいものはどれか。 (2026年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------|---------------|---------------|---------------|
| 1. 足利義満 — 日明貿易 | 2. 平清盛 — 日明貿易 | 3. 平清盛 — 日宋貿易 | 4. 源頼朝 — 日宋貿易 |
|----------------|---------------|---------------|---------------|
-
- 問8 中尊寺金色堂が位置する岩手県平泉に関連する記述として、歴史的な事実に基づいた正しいものはどれか。 (2022年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 平泉は源頼朝の命によって、東国を統治するための幕府の出先機関である「奥州総奉行」が設置された政治の中心地である。 | 2. 室町時代に足利義政が隠居所として開発した地域であり、簡素な美しさを尊ぶ「わび・さび」の文化の源流となった。 | 3. 平泉は、奥州藤原氏が三代にわたり拠点とした都市であり、現在は当時の浄土教に関わる寺院や庭園の遺跡群が世界文化遺産に登録されている。 | 4. 平安京の景観を完全に模倣して造られたため「北の京」と呼ばれ、遣唐使によってもたらされた最新の大陸文化が花開いた。 |
|---|--|--|---|
-
- 問9 8世紀の歴史年表において、奈良時代の終わりにから平安時代の始まりにかけて、仏教勢力から距離を置き政治を立て直すために、平城京から長岡京、さらに平安京へと都を移した天皇は誰ですか。 (2023年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 持統天皇 | 2. 天武天皇 | 3. 聖武天皇 | 4. 桓武天皇 |
|---------|---------|---------|---------|
-
- 問10 平安時代、藤原氏は自分の娘を天皇の後（きさき）とし、生まれた子を次の天皇に立てることで政治の実権を握りました。このように、天皇が幼少である期間に、その名代として政治を行う役職を何といいますか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|---------|----------|-------|
| 1. 摂政 | 2. 太政大臣 | 3. 征夷大將軍 | 4. 関白 |
|-------|---------|----------|-------|
-
- 問11 奈良時代末期、仏教勢力が政治に深く関与するようになった状況を打破し、天皇中心の政治を立て直す目的で行われた政治改革に関連する記述です。七百九十四年に都を山背国の平安京へと移し、新しい政治の刷新を図った天皇として正しいものを選びなさい。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 天智天皇 | 2. 天武天皇 | 3. 推古天皇 | 4. 桓武天皇 |
|---------|---------|---------|---------|
-
- 問12 12世紀後半に武士として初めて太政大臣となり、政治の実権を握った人物が行った経済政策として最も適切なものはどれですか。この人物は、現在の神戸市にあたる場所に港を整備したことで知られています。 (2026年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|-----------------------------------|------------------------------|---------------------------------|
| 1. 勘合を用いて明との貿易を行い、倭寇の取り締まりを強化した。 | 2. 堺や博多の商人に特権を与え、座を廃止して自由な取引を認めた。 | 3. 朱印状を発行して東南アジア諸国との貿易を奨励した。 | 4. 大輪田泊を修築し、宋との貿易を積極的に進めて富を蓄えた。 |
|----------------------------------|-----------------------------------|------------------------------|---------------------------------|
-
- 問13 平安時代後期に行われた「院政」と呼ばれる政治の仕組みや背景について、正しい説明はどれですか。 (2025年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 仏教による国家の安定を目指し、全国に国分寺や国分尼寺を建立して人々の心を掌握する政治。 | 2. 天皇が退位して上皇となった後、独自の役所を設けて摂政や関白を介さずに政治を行う仕組み。 | 3. 藤原氏の娘を天皇のきさきとし、その子供を次の天皇に立てることで権力を独占する仕組み。 | 4. 地方の混乱を抑えるために有力な武士を国司として派遣し、土地の管理を直接行わせる制度。 |
|--|--|---|---|
-
- 問14 藤原氏が摂関政治を通じて長期間にわたり政治の実権を維持できた理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 天皇の位を退いた後も、上皇として「院」から政治の指図を出し続けたから。 | 2. 遣唐使を廃止することで大陸との交流を断ち、国内の貴族の支持を独自に固めたから。 | 3. 鎌倉府の長官として軍事力を背景に、幕府の実権を将軍に代わって握ったから。 | 4. 自分の娘を天皇の妃にし、生まれた子を天皇に立てて、その母方の祖父として権力を振るったから。 |
|--|--|---|--|
-
- 問15 平安時代中期、西暦1000年前後に執筆された『源氏物語』や『枕草子』などの文学作品が登場した背景にある、文字の歴史的な変化を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2019年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 中国から伝えられた漢字のみを用いて、当時の話し言葉をそのまま表記する手法が確立された。 | 2. 漢字を崩したり、その一部を抜き出したりして作られた「かな文字」が発明され、日常的に使われるようになった。 | 3. 朝廷が公用語としてハングルを採用したことで、女性による文学創作が容易になった。 | 4. 印刷技術の普及により、それまでの口承文学が急速に文字化されるようになった。 |
|--|---|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 かな文字 ― 『源氏物語』や『枕草子』	この時期、漢字を崩したり一部を取ったりして作られた「かな文字」が広く普及しました。これにより、漢文では表現しにくかった微妙な感情や宮廷生活の様子を表現できるようになり、紫式部による物語文学や清少納言による随筆など、日本文学の傑作が数多く誕生しました。
問2	答え 1 院政	天皇が位を譲り上皇となった後、その住まいである「院」において実権を握り続けた政治を院政と呼びます。それまでの藤原氏を中心とした摂関政治に対し、天皇家が主導権を取り戻す役割を果たしました。
問3	答え 4 天台宗・延暦寺	最澄は平安京の北東に位置する比叡山に延暦寺を建て、天台宗を広めました。比叡山は「日本仏教の母」とも呼ばれ、鎌倉時代に新しい宗派を開いた法然や親鸞などもここで修行したことで知られています。同時期に空海が和歌山県の高野山に金剛峯寺を建てて開いたのは真言宗です。
問4	答え 4 浄土信仰	「末法思想」の影響で、現世での救いをあきらめ来世での幸せを願うこの信仰が流行しました。藤原道長が建立した法成寺や、その子の頼通が建立した平等院鳳凰堂は、この信仰に基づいて「この世に現れた極楽浄土」を表現しようとしたものです。
問5	答え 1 空海が、高野山に金剛峯寺を建てて真言宗を広めた	最澄が天台宗を開いた平安時代初期には、同じく唐に渡って学んだ空海も帰国し、高野山に金剛峯寺を建てて真言宗を開きました。これらは山の中で厳しい修行を行う密教として発展し、貴族の支持を得ました。他の選択肢にある親鸞、一遍、日蓮は、13世紀の鎌倉時代に登場した鎌倉新仏教の人物です。
問6	答え 1 院政	白河天皇は1086年に位を譲って上皇となった後も、藤原氏が代々務めていた摂政や関白の影響を抑え、自ら政治の実権を握り続けました。この政治体制を院政と呼び、その後約100年にわたって上皇が政治の中心となる時代が続きました。
問7	答え 3 平清盛 ― 日宋貿易	平清盛は、保元の乱・平治の乱という二つの戦いを通じて政治の実権を握り、武士として初めて太政大臣に任命されました。彼は兵庫の港（大輪田泊）を修築し、当時の中国の王朝である宋と「日宋貿易」を積極的に行いました。宋から輸入された大量の宋銭は、日本国内で貨幣経済が普及するきっかけの一つとなりました。
問8	答え 3 平泉は、奥州藤原氏が三代にわたり拠点とした都市であり、現在は当時の浄土教に関わる寺院や庭園の遺跡群が世界文化遺産に登録されている。	平泉は奥州藤原氏三代（清衡、基衡、秀衡）の時代に、仏教の理想郷を目指した都市として整備されました。中尊寺だけでなく毛越寺の庭園などにも有名です。2011年には「平泉―仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群―」として、世界文化遺産に登録されました。
問9	答え 4 桓武天皇	奈良時代後半、平城京では仏教勢力が政治に強く介入し、律令政治が乱れていました。これを刷新するため、784年に長岡京へ、続いて794年に山背国（現在の京都府）の平安京へと遷都を行い、新しい政治体制を築こうとしました。
問10	答え 1 摂政	藤原氏は天皇の母方の親戚（外戚）という立場を利用して、政治の重要なポストを独占しました。天皇がまだ子供である時に、天皇に代わって政治を執り行う役職が摂政です。一方で、天皇が成人した後に、その補佐として政治を行う役職は「関白」と呼ばれ、これらを合わせて摂関政治といいます。
問11	答え 4 桓武天皇	平城京では有力寺院の勢力が強まり、政治に大きな影響を及ぼすようになっていました。この影響を断ち切り、律令政治の再建（政治改革）を目指して、七百九十四年に平安京への遷都が実行されました。これにより約400年にわたる平安時代が幕を開けることになります。
問12	答え 4 大輪田泊を修築し、宋との貿易を積極的に進めて富を蓄えた。	平清盛は、武士として初めて政権の頂点に立つと、経済基盤を固めるために日宋貿易を推進しました。そのために、現在の神戸市にあたる大輪田泊を大規模に修築し、宋の大型船が停泊できるようにして、宋銭や陶磁器などの輸入を行いました。
問13	答え 2 天皇が退位して上皇となった後、独自の役所を設けて摂政や関白を介さずに政治を行う仕組み。	院政は、藤原氏が摂政や関白として権力を独占する「摂関政治」に対抗し、天皇家が政治の主導権を取り戻すために行われました。上皇は「院庁」という独自の役所を置き、北面の武士を組織して警護にあたらせるなど、従来の官僚組織とは異なるルートで政治を動かしました。藤原氏の婚姻政策は摂関政治の特徴であり、国分寺の建立は奈良時代の聖武天皇による政策です。
問14	答え 4 自分の娘を天皇の妃にし、生まれた子を天皇に立てて、その母方の祖父として権力を振ったから。	摂関政治の最大の特徴は、天皇の母方の親戚（外戚）になることで権力基盤を固めた点にあります。藤原氏は娘を天皇に嫁がせ、その子が次の天皇になることで、外祖父として摂政や関白の地位を独占し、政治を思いのままに動かしました。上皇が政治を行うのは「院政」、将軍の補佐役が実権を握るのは「執権政治」であり、これらとは背景が異なります。
問15	答え 2 漢字を崩したり、その一部を抜き出したりして作られた「かな文字」が発明され、日常的に使われるようになった。	国風文化の時期に「かな文字」が広く使われるようになったことは、日本独自の文学が発展する決定的な要因となりました。これにより、漢字では表現しきれなかった繊細な感情や生活の様子を記述することが可能になり、女性作家たちによる優れた宮廷文学が生まれる土壌が整いました。

- 問1 日本の歴史における仏教の展開について、平安時代初期に広まった新しい仏教の動向として正しいものはどれですか。 （2016年 三重県公立入試 類似）
1. 浄土真宗の門徒が団結し、各地で一向一揆と呼ばれる激しい抵抗を行った。
 2. 日蓮が法華宗を説き、法華經の題目を聞くことで救われると教えた。
 3. 聖武天皇が国ごとに国分寺を建て、東大寺には巨大な大仏を造立した。
 4. 空海が和歌山県の高野山に金剛峯寺を建立し、真言宗の教えを広めた。
- 問2 岩手県の平泉を拠点とし、平安時代末期に大きな勢力を誇った奥州藤原氏によって建立された、豪華な装飾で知られる阿弥陀堂を何といいますか。 （2017年 奈良県公立入試 類似）
1. 東大寺南大門
 2. 蓮華王院本堂 （三十三間堂）
 3. 中尊寺金色堂
 4. 平等院鳳凰堂
- 問3 桓武天皇が実施した「平安京への遷都」に関連して、当時の政治的な背景や目的を説明した文として最も適切なものはどれですか。 （2018年 秋田県公立入試 類似）
1. 武士の台頭を抑えるため、軍事力を強化して東北地方の経営を断念した。
 2. 肥大化した奈良の寺院勢力から政治を切り離し、律令政治を再建しようとした。
 3. 白村江の戦いでの敗北を受け、外敵からの防御を固めるために内陸部へ都を移した。
 4. 大仏造立によって国を治めるため、東大寺を中心とした仏教政治を推進した。
- 問4 平安時代末期、現在の岩手県にある平泉を拠点として東北地方に独自の勢力を築いた一族が、その豊富な経済力を示すために建立した代表的な建造物はどれか。 （2026年 和歌山県公立入試 類似）
1. 平等院鳳凰堂
 2. 鹿苑寺金閣
 3. 中尊寺金色堂
 4. 東大寺大仏殿
- 問5 894年に菅原道真が遣唐使の停止を提案した主な理由と、その後の日本文化に与えた影響について述べたものとして、最も適切な説明はどれですか。 （2015年 富山県公立入試 類似）
1. 最澄や空海が伝えた新しい仏教が国内で十分に普及したため、これにより中国との貿易が完全に禁止された。
 2. 唐の国力が衰えて国内が乱れたため派遣の必要性が薄れ、その後、日本の風土や生活に合わせた国風文化が発達した。
 3. 小野妹子が隋に対して対等な外交を求めた伝統を引き継ぎ、唐の支配下に入ることを拒んだため、武家文化が成立した。
 4. 白村江の戦いで敗北したことでより唐との関係が悪化したため、これによって仏教文化の導入が完全に途絶えた。
- 問6 平安時代の文化の変遷をたどると、国風文化の時代には日本の風土や生活に合った洗練された文化が生まれたことがわかります。この時期における「かな文字」の普及がもたらした歴史的背景や影響について述べた文として、最も適切なものはどれか。 （2016年 京都府公立入試 類似）
1. 貴族の間で中国の文化をそのまま模倣することが流行し、かな文字を使って漢詩を詠むことが最も重要な教養とされた。
 2. 遣唐使の廃止後、日本人の心情を細やかに表現することが可能になり、女性による物語や和歌などの文学が発展した。
 3. 大陸との交流が途絶えたため、仏教の影響が弱まり、寺院で使われていた漢字に代わってかな文字が公文書の主流となった。
 4. 武士が政治の実権を握ったことで、力強い文化が生まれ、かな文字を用いて戦いの記録を記す軍記物語が流行した。
- 問7 国風文化の特色を示す具体的な事例として、当時の文学や美術の様子を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 （2015年 富山県公立入試 類似）
1. 禅宗の考え方が広まり、墨一色で自然を描く水墨画や、石と砂で自然を表現する庭園が作られた。
 2. 武士の精神を反映し、力強い彫刻や運慶・快慶による金剛力士像が作られた。
 3. 聖武天皇の時代に、仏教によって国家を守るために東大寺の大仏などが造られた。
 4. 漢字を簡略化した「かな文字」が普及し、女性による日記や物語などの文学作品が多く生まれた。
- 問8 平安時代の仏教に関する学習のまとめにおいて、最澄や空海が仏教を学ぶために渡った当時の中国の王朝名と、のちに広まった「死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う信仰」において阿弥陀仏に唱える修行の名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。 （2022年 茨城県公立入試 類似）
1. 王朝名：唐、修行の名称：念仏
 2. 王朝名：唐、修行の名称：題目
 3. 王朝名：宋、修行の名称：題目
 4. 王朝名：宋、修行の名称：念仏
- 問9 平安時代中期、遣唐使の停止などを背景に、日本の風土や生活に合わせた独自の文化が発達しました。この文化において、かな文字を用いて書かれた長編物語の傑作と、その作者の組み合わせとして適切なものはどれですか。 （2023年 山梨県公立入試 類似）
1. 枕草子 — 清少納言
 2. 平家物語 — 信濃前司行長
 3. 土佐日記 — 紀貫之
 4. 源氏物語 — 紫式部
- 問10 東北地方の拠点として栄えた平泉の文化や、中尊寺金色堂を建立した奥州藤原氏に関する説明として正しいものはどれですか。 （2023年 神奈川県公立入試 類似）
1. 藤原清衡が、戦乱のない平和な社会を願って黄金をふんだんに使った堂を建立した。
 2. 鎌倉時代に広まった禅宗の教えを基に、質実剛健な文化を東北の地に根付かせた。
 3. 飛鳥地方の建築技術を導入し、法隆寺の建立に協力した勢力の子孫である。
 4. 雪舟の描く水墨画の技法を取り入れた庭園を各地に造営し、武家文化の発展に貢献した。
- 問11 日宋貿易の展開について、当時の航路や考古学的な発見に関する記述として正しいものはどれですか。 （2023年 北海道公立入試 類似）
1. 九州北部の博多や瀬戸内海を経由して兵庫に至る航路が整備され、宋銭は遠く北海道の函館にある遺跡からも出土している。
 2. 遣唐使が廃止された直後のため、公式な航路は存在せず、主に琉球王国が中継地点となって中国の品物を本州へ運んだ。
 3. 日本海側の小樽や新潟を拠点とした北前船の航路が活用され、宋の陶磁器が東北地方の城柵を中心に大量に持ち込まれた。
 4. 種子島に漂着したポルトガル船の航路をたどる形で、堺の商人が直接中国の南部に渡り、鉄砲や火薬を輸入した。
- 問12 10世紀初頭の周防国（現在の山口県）における人口統計によると、働き手となる17歳から65歳の層において、男性66人に対し女性が136人と、自然な状態ではありえないほど男女の数に極端な偏りが見られます。このような戸籍の偽装が行われた理由として、当時の税制度の仕組みから説明したものとして最も適切なものを選びなさい。 （2024年 山口県公立入試 類似）
1. 防人などの軍役が女性にのみ課せられていたため、男性が女性の身代わりになろうとしたから。
 2. 男性のみに課せられていた調や庸といった重い税負担を逃れるため、戸籍上で性別を偽ったから。
 3. 収穫した稲の一部を納める「租」が男性のみに課せられていたため、その負担を回避しようとしたから。
 4. 女性にのみ公地公民制に基づく口分田が与えられていたため、土地を得ようと性別を偽ったから。
- 問13 東北地方の歴史と地理に関する記述において、北上高地の西側に位置する岩手県平泉には、奥州藤原氏によって建立された中尊寺金色堂があることが記されています。この中尊寺金色堂と共通の仏教信仰に基づき、平安時代に建立された建築物として最も適切なものはどれですか。 （2024年 宮城県公立入試 類似）
1. 京都の宇治に藤原頼通が建立した平等院鳳凰堂
 2. 運慶・快慶によって金剛力士像が作られた東大寺南大門
 3. 聖徳太子によって飛鳥時代に建立された法隆寺
 4. 聖武天皇の遺品を納めるために奈良に作られた正倉院

答え合わせ・解説

問1	答え 4 空海が和歌山県の高野山に金剛峯寺を建立し、真言宗の教えを広めた。	平安時代初期の仏教は、奈良時代の政治に関与しすぎた仏教の反省から、山の中に寺を建てて厳しい修行を行う形式がとられました。空海は唐から密教を持ち帰り、高野山を拠点として活動しました。東大寺の大仏建立は奈良時代、法華宗（日蓮宗）は鎌倉時代、一向一揆は室町時代以降の出来事であり、時代ごとの特徴を区別する必要があります。
問2	答え 3 中尊寺金色堂	奥州藤原氏は、清衡・基衡・秀衡の3代にわたって平泉を本拠地とし、東北地方で独自の文化を築きました。中尊寺金色堂は、その繁栄を象徴する建造物で、内外に金箔が貼られ、螺鈿（らでん）などの高度な工芸技術が凝らされた阿彌陀堂です。当時の地方武士が京都の文化を積極的に取り入れ、独自に発展させた様子を現代に伝えています。
問3	答え 2 肥大化した奈良の寺院勢力から政治を切り離し、律令政治を再建しようとした。	平城京では寺院が大きな力を持ち、政治への影響力が強まっていました。桓武天皇はこの状況を打破するために遷都を強行し、あわせて貴族の不正を監視する「勘解由使（かげゆし）」を設置するなど、天皇による統治を強化する改革を行いました。東北地方に対しては、坂上田村麻呂を征夷大將軍に任命して蝦夷の平定を進めており、経営を断念したわけではありません。
問4	答え 3 中尊寺金色堂	奥州藤原氏は、陸奥国（現在の東北地方）で産出される金や馬を背景に莫大な富を蓄えました。初代の藤原清衡は、度重なる戦乱で亡くなった人々を供養し、仏教による平和な理想郷を築くために平泉を拠点としました。その象徴である中尊寺金色堂は、建物の内外を金箔で覆った豪華な造りであり、当時の東北地方における高度な技術と繁栄を現在に伝えています。
問5	答え 2 唐の国力が衰えて国内が乱れたため派遣の必要性が薄れ、その後、日本の風土や生活に合わせた国風文化が発達した。	9世紀後半の唐は、黄巢の乱などが起こり国力が衰退していました。菅原道真は、命をかけて海を渡る危険に見合うだけの成果が得られなくなったと判断し、遣唐使の中止を建議しました。その結果、中国の影響を消化した上で、日本独自の貴族文化である国風文化（かな文字、寝殿造、十二単など）が大きく発展することとなりました。
問6	答え 2 遣唐使の廃止後、日本人の心情を細やかに表現することが可能になり、女性による物語や和歌などの文学が発展した。	894年の遣唐使廃止を契機に、中国の影響を消化した日本独自の「国風文化」が開花しました。かな文字が普及したことで、紫式部の『源氏物語』や清少納言の『枕草子』など、貴族の生活や感情をいきいきと描いた女流文学や和歌が数多く生み出されました。選択肢にある「武士の文化」や「漢詩の重視」は、時代設定や文化の特徴が一致しません。
問7	答え 4 漢字を簡略化した「かな文字」が普及し、女性による日記や物語などの文学作品が多く生まれました。	万葉仮名から発展して「かな文字」が発明されたことで、漢字では表現しきれなかった日本人の繊細な心情を自由に書き表せるようになりました。これにより、紫式部の『源氏物語』や清少納言の『枕草子』といった、世界に誇る女流文学が誕生しました。また、絵画の分野でも、日本の風景や風俗を描いた「大和絵」が描かれるようになるなど、日本的な美意識が確立されました。
問8	答え 1 王朝名：唐、修行の名称：念仏	平安時代初期、最澄（天台宗）や空海（真言宗）は遣唐使とともに唐へ渡り、新しい仏教を日本に伝えました。平安時代中期以降、社会の混乱や末法思想の広がりを背景に、阿彌陀仏を信じて「南無阿彌陀仏」と唱える念仏により、死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う浄土信仰が盛んになりました。題目を唱えるのは鎌倉時代に始まる日蓮宗の修行であり、宋は平安時代後半から鎌倉時代にかけて交流が盛んになった中国の王朝です。
問9	答え 4 源氏物語 ― 紫式部	平安時代中期には、日本の独自の風土や感覚を重んじる「国風文化」が開花しました。かな文字の発達により、女性による文学作品が多く生み出され、紫式部が宮廷生活を題材に書いた『源氏物語』はその代表作です。選択肢にある『枕草子』は清少納言による随筆であり、『土佐日記』は紀貫之が女性に仮託して書いた日記、『平家物語』は鎌倉時代に成立した軍記物語です。
問10	答え 1 藤原清衡が、戦乱のない平和な社会を願って黄金をふんだんに使った堂を建立した。	初代の藤原清衡は、凄惨な戦乱を経験したことから、仏教の力で平和な国を造ることを目指しました。中尊寺金色堂は、当時の東北地方で産出された豊富な金を背景に造られた平安時代末期の仏教文化を象徴する建造物です。雪舟は室町時代、飛鳥地方の建築は7世紀、禅宗は鎌倉時代以降の文化であり、時代設定が異なります。
問11	答え 1 九州北部の博多や瀬戸内海を経由して兵庫に至る航路が整備され、宋銭は遠く北海道の函館にある遺跡からも出土している。	日宋貿易では、九州の博多や瀬戸内海を通り、平清盛が整備した兵庫の大輪田泊に至るルートが重要視されました。この貿易の影響力は極めて大きく、宋から輸入された「宋銭」は日本各地に流通しました。その証拠として、北海道函館市の志苔館跡などの遺跡からも大量の中国銭が出土しており、交易網が広範囲に及んでいたことが示されています。
問12	答え 2 男性のみに課せられていた調や庸といった重い税負担を逃れるため、戸籍上で性別を偽ったから。	律令制下の税負担において、収穫した稲を納める「租」は男女共通の負担でしたが、特産物を納める「調」や、労役の代わりに布を納める「庸」は、主に成人男性に対して課せられる非常に重い負担でした。このため、負担を回避しようと、戸籍上で男性を女性として登録する「偽装」が横行しました。このような状況は、政府が戸籍に基づいて「人」に税を課す仕組みを維持することを困難にし、後の時代に「土地」を基準として課税する仕組みへと変化していく要因となりました。
問13	答え 1 京都の宇治に藤原頼通が建立した平等院鳳凰堂	岩手県平泉の中尊寺金色堂と京都の平等院鳳凰堂は、どちらも平安時代に流行した浄土信仰に基づいて建てられた阿彌陀堂です。当時、中央の貴族文化が奥州藤原氏の手によって東北地方へもたらされ、独自の発展を遂げたことを示す重要な歴史的資料となっています。資料に示された北上高地などの地形的な位置関係とともに、地方における文化の受容を理解することが重要です。

- 問1 現在の十円硬貨にもデザインされている、京都府宇治市に位置する平安時代の建築物の特徴を正しく説明したものはどれか。 (2022年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 池の中央に建てられた阿弥陀堂を中心とし、左右に翼廊、背後に尾廊を持つ、左右対称の華麗な姿をしている。 | 2. 漆塗りの上に金箔を貼り巡らせた三層の楼閣建築で、庭園には全国の守護大名から献上された石が配置されている。 | 3. 急な斜面に突き出すように建てられた「舞台造」が特徴で、重厚な瓦屋根と巨大な柱で支えられている。 | 4. 二重の屋根を持つ金堂や五重塔が配置され、飛鳥時代の様式を伝える世界最古の木造建築物として知られる。 |
|---|---|--|--|
- 問2 日本の古代において、律令制をはじめとする国家体制が整備された背景と目的について述べた記述として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 山梨県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 民衆が政治に直接参加できる権利を保障し、話し合いによって国の重要事項を決定する民主的な仕組みを整えた。 | 2. ヨーロッパ諸国の憲法を参考に、国際社会で対等な貿易を行うための近代的な国家体制の構築を急いだ。 | 3. 地方の有力な武士たちが自らの領地を確実に支配するため、共通のルールとして独自の法律を定めた。 | 4. 中国（唐）を中心とした東アジア諸国の優れた制度を学び、天皇を頂点とした中央集権的な国家を築こうとした。 |
|--|--|---|--|
- 問3 894年に、ある人物の建議によって遣唐使の派遣が停止されました。平安時代の歴史を記した年表において、この停止を提案した人物として記載される姓名を答えなさい。 (2023年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 菅原道真 | 2. 聖徳太子 | 3. 藤原道長 | 4. 小野妹子 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問4 平安時代の古記録には、延延3年8月に彗星が現れたという記述や、長保元年に大内裏で火災が発生したという記録が残されています。これらの事実に関連して当時の元号が改められた背景として、正しい説明はどれですか。 (2026年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 彗星の出現や大規模な火災を不吉な予兆と捉え、それを断ち切るために改元が行われた | 2. 大内裏の火災によって国家の儀式が不可能になったため、天皇が交代し改元された | 3. 災いが発生した際に、遷都を行う代わりに元号を改めて政治の刷新を図ることが通例だった | 4. 彗星などの天体観測技術が向上したことを記念して、定期的に改元する制度が確立した |
|--|--|--|--|
- 問5 8世紀末に平安京へと都を移した桓武天皇が、地方政治を立て直すために実施した政策として最も適切なものはどれですか。 (2020年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
| 1. 勘解由使という役職を設け、国司の業務の引き継ぎを厳しく監督させた | 2. 検非違使を設置して、都の治安維持や裁判の迅速化を図った | 3. 墾田永年私財法を制定し、新しく開墾した土地の永久私有を認めた | 4. 班田収授法を完全に廃止し、農民から直接税を徴収することをやめた |
|-------------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
- 問6 桓武天皇は東北地方への支配を広げるため、坂上田村麻呂をある官職に任命して派遣し、現地の拠点として胆沢城を築かせました。この時、坂上田村麻呂が任命された、東北地方の平定を目的とした官職の名称として正しいものを次の中から選びなさい。 (2017年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|---------|----------|-------|
| 1. 関白 | 2. 太政大臣 | 3. 征夷大將軍 | 4. 摂政 |
|-------|---------|----------|-------|
- 問7 国風文化が全盛期を迎えた平安時代中期の社会について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2021年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---------------------------------------|---|------------------------------------|
| 1. 津田梅子らが女子教育の普及に努め、欧米の文化を取り入れた文明開化が進んだ。 | 2. 松尾芭蕉が俳諧を大成させ、都市の町人を中心とした元禄文化が発展した。 | 3. 紫式部などの女流作家が活躍し、貴族の屋敷は寝殿造と呼ばれる様式で建てられた。 | 4. 雪舟による水墨画が完成され、銀閣に代表される東山文化が栄えた。 |
|--|---------------------------------------|---|------------------------------------|
- 問8 桓武天皇が784年の長岡京遷都から間を置かず、794年に再び平安京へと遷都した目的や背景として最も適切な説明はどれですか。 (2024年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 遣唐使の派遣を廃止し、海外との交流を完全に断つための新しい政治拠点を求めたため | 2. 貴族の勢力争いを鎮めるため、これまでの都とは全く異なる九州地方に都を置いたため | 3. 東北地方での争いを有利に進めるため、より北方の拠点に政治機能を移すため | 4. 平城京以来の古い仏教勢力の影響を断ち切り、天皇中心の政治を立て直すため |
|--|--|--|--|
- 問9 保元の乱から平治の乱へと続く一連の動乱が、日本の支配構造に与えた影響を説明した文として、適切なものはどれですか。 (2022年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 天皇の権限が絶対的なものとなり、院政が廃止されて武士は再び地方の警護を専門とする役職に戻った。 | 2. 全国に守護と地頭が設置されることで、地方武士が守護大名として独立し、幕府を介さない政治が行われた。 | 3. 公家と武士の融和が進んだ結果、武家諸法度が制定されて武士の行動が厳格に制限されるようになった。 | 4. 軍事力を持つ武士が政治の実権を握るようになり、貴族中心の政治から武士中心の政治へと移行するきっかけとなった。 |
|--|--|--|---|
- 問10 平安時代中期、藤原氏は自分の娘を天皇のきさき（妃）とし、その間に生まれた子を次の天皇に立てることで、天皇の母方の親戚（外戚）として朝廷の権力を独占しました。このような政治形態を何と呼びますか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|-------|-------|
| 1. 摂関政治 | 2. 執権政治 | 3. 親政 | 4. 院政 |
|---------|---------|-------|-------|
- 問11 平安時代初期に最澄や空海が伝えた新しい仏教は、奈良時代の仏教が政治に深く関わりすぎたことへの反省から、ある共通した特徴を持っていました。その特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2019年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|------------------------------------|--|---|
| 1. 海外との貿易を盛んに行い、寺院の資金を蓄えることを重視した。 | 2. 人里離れた山の中に寺院を建て、厳しい修行を行うことを重視した。 | 3. 都の中心部に巨大な寺院を築き、天皇の政治を直接補佐することを重視した。 | 4. 文字の読めない庶民のために、念仏を唱えるだけで救われると説くことを重視した。 |
|-----------------------------------|------------------------------------|--|---|
- 問12 平安時代中期、一条天皇の中宮定子に仕えた女性が、宮廷生活の体験や四季の移ろいに対する鋭い感性を書き記した作品があります。この作品は、自然の美しさや日常生活の興味深い出来事を「をかし」という美意識でつづった、日本を代表する随筆とされています。この作品の名称として正しいものはどれですか。 (2025年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| 1. 枕草子 | 2. 源氏物語 | 3. 土佐日記 | 4. 更級日記 |
|--------|---------|---------|---------|
- 問13 平安時代末期、後白河上皇に仕える武士勢力の争いに勝利して政治の実権を掌握し、武士として初めて太政大臣の位についた人物は誰ですか。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|--------|---------|
| 1. 織田信長 | 2. 平清盛 | 3. 源頼朝 | 4. 足利尊氏 |
|---------|--------|--------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 池の中央に建てられた阿弥陀堂を中心とし、左右に翼廊、背後に尾廊を持つ、左右対称の華麗な姿をしている。	平等院鳳凰堂は、阿弥陀如来が住む極楽浄土の宮殿を模して造られました。大きな池の中に島を設け、そこに建物を配置することで、水面に建物が映り込むように設計されています。この左右対称の美しい構造は、当時の貴族が好んだ寝殿造の影響を強く受けており、当時の高度な建築技術と美意識を現代に伝えています。
問2	答え 4 中国（唐）を中心とした東アジア諸国の優れた制度を学び、天皇を頂点とした中央集権的な国家を築こうとした。	古代の日本では、東アジアの先進的な文明や制度を積極的に取り入れることで、国家の基盤を固めました。特に中国の唐の制度に倣った「律令」を制定したことで、天皇が全国の土地と人民を直接支配する公地公民の原則に基づく、中央集権的な国家体制（律令国家）が目指されました。武士が政治の主役となるのは中世以降であり、民衆による民主的な運営という視点もこの時代には当てはまりません。
問3	答え 1 菅原道真	遣唐使は、中国の進んだ制度や文化を吸収するために派遣されてきましたが、平安時代末期の894年、菅原道真の建議により停止されました。これにより、日本独自の文化である国風文化が発展する大きな要因となりました。
問4	答え 1 彗星の出現や大規模な火災を不吉な予兆と捉え、それを断ち切るために改元が行われた	当時の人々は、彗星の出現を「天変」として、また大内裏の火災などを国家の危機として非常に恐れました。これらは社会不安に直結したため、元号を変える（改元する）ことで悪い流れを断ち切ろうとしました。明治時代以降の「一世一元の制（天皇一人につき元号一つ）」とは異なり、平安時代には天災や吉事などに応じて柔軟に改元が行われていたのが特徴です。
問5	答え 1 勘解由使という役職を設け、国司の業務の引き継ぎを厳しく監督させた	桓武天皇は、律令政治の立て直しを重視しました。当時、地方を治める国司の不正が問題となっていたため、新旧の国司が交代する際の業務報告を厳しくチェックする「勘解由使（かげゆし）」を設置しました。これにより、地方行政の引き締まりを図りました。
問6	答え 3 征夷大將軍	坂上田村麻呂は、蝦夷の有力なリーダーであったアテルイを降伏させるなどの功績を挙げました。この際に彼が任命されたのが「征夷大將軍」です。この役職はもともと、東北地方の蝦夷を平定するための軍事遠征における臨時の最高司令官を指すものでした。後の鎌倉時代以降、武士の棟梁（リーダー）を指す称号へと変化していきます。
問7	答え 3 紫式部などの女流作家が活躍し、貴族の屋敷は寝殿造と呼ばれる様式で建てられた。	平安時代中期の国風文化では、かな文字による文学だけでなく、建築面でも日本の気候に合わせた「寝殿造」という貴族の住居様式が発達しました。選択肢にある水墨画は室町時代、俳諧は江戸時代、女子教育の普及は明治時代の出来事であり、時代が異なります。
問8	答え 4 平城京以来の古い仏教勢力の影響を断ち切り、天皇中心の政治を立て直すため	奈良時代の平城京では、大きな寺院の力が政治に強く干渉するようになっていました。桓武天皇はこうした古い勢力から離れ、自らを中心とした新しい政治体制を築くために、山城国への遷都を行いました。長岡京での相次ぐ災難を避け、より地勢の良い平安京へと改めて遷都が行われたという背景があります。
問9	答え 4 軍事力を持つ武士が政治の実権を握るようになり、貴族中心の政治から武士中心の政治へと移行するきっかけとなった。	保元の乱において源氏や平氏の武士が活躍したことで、それまで貴族の「奉公人」的な立場であった武士の地位が劇的に向上しました。この乱の結果、武士は単なる兵力ではなく政治を動かす主体となり、平清盛が太政大臣に就任するなど、武家が政治の表舞台に立つ「武家政権」の時代を切り拓くことになりました。
問10	答え 1 摂関政治	藤原氏は、天皇が幼少の間に政治を代行する「摂政」や、成人した天皇を補佐する「関白」の職を代々独占しました。この政治体制は、武力によって権力を奪うのではなく、天皇との血縁関係を深めることで実権を握るという特徴があります。藤原道長や藤原頼通の時代に全盛期を迎えました。
問11	答え 2 人里離れた山の中に寺院を建て、厳しい修行を行うことを重視した。	奈良時代には僧が政治に干渉する弊害が見られたため、平安時代初期の新しい仏教は、比叡山や高野山といった山の中に寺院を構え、世俗を離れて修行に専念するスタイルをとりました。これを山岳仏教と呼びます。
問12	答え 1 枕草子	清少納言によって執筆されたこの作品は、宮廷に仕えた才能ある女性の視点から、自然の情緒や人間関係、宮廷生活での出来事を自由な形式で記録したものです。平安時代の貴族社会の気風を今に伝える貴重な資料であり、日本最古の随筆の一つとしての地位を確立しています。同時期に活躍した紫式部の『源氏物語』が物語（フィクション）であるのに対し、作者の身の回りの出来事や感想を記した実録的な性質を持っています。
問13	答え 2 平清盛	平安時代末期の政権移行期において、保元の乱や平治の乱といった武士同士の争いに勝利した平清盛は、後白河上皇の院政を支えながら急速に勢力を拡大しました。その後、武士として初めて朝廷の最高職である太政大臣に就任し、平氏一門で高位高官を独占する全盛期を築きました。

- 問1 国風文化の時代には、漢字を簡略化したり崩したりして作られた「かな文字」が普及し、日本人の感情を細やかに表現する文学が発達しました。この時期の文学について説明した文として正しいものはどれですか。（2023年 香川県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---------------------------------------|--|-------------------------------------|
| 1. 醍醐天皇の命により、紀貫之らが日本最初の勅撰和歌集である『古今和歌集』を編纂した | 2. 地方の地理や伝承を記録するために、各令制国で『風土記』がまとめられた | 3. 源平の争乱を背景に、琵琶法師によって語り継がれた『平家物語』が成立した | 4. 室町時代の庶民の間で、挿絵入りの物語である『御伽草子』が流行した |
|---|---------------------------------------|--|-------------------------------------|
- 問2 1156年に発生した保元の乱は、平安時代末期の政治状況を大きく変えるきっかけとなりました。この政変の直接的な原因となった、当時の朝廷内における対立関係を説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。（2022年 島根県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|----------------------------|
| 1. 将軍の跡継ぎ問題をきっかけとした、守護大名同士の勢力争い | 2. 武家政権の樹立を目指す武士団による、朝廷への反乱 | 3. 摂関政治を維持しようとする藤原氏と、新興武士層との対立 | 4. 院政の実権をめぐる、上皇と天皇による主導権争い |
|---------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|----------------------------|
- 問3 平安京における経済活動や「市（いち）」の仕組みについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2024年 京都府公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 政府が設置した市司（いちのつかさ）という役所の監督のもとで、物品の価格や度量衡の管理が行われた。 | 2. 座と呼ばれる同業者組合が結成され、政府の許可なく自由に商売を行うことが認められた。 | 3. 外国との貿易を促進するため、九州の大宰府から運ばれた輸入品を専門に扱う市場として発展した。 | 4. 貨幣経済を浸透させるため、和同開珎以外の貨幣を使用することが厳しく禁止された。 |
|---|--|--|--|
- 問4 8世紀の天平文化などが大陸の影響を強く受けていたのに対し、遣唐使の停止を経て10世紀から11世紀にかけて日本独自の貴族文化が成立しました。この時期に成立し、源氏物語や枕草子などの文学作品が生み出された文化の名称を次から選びなさい。（2016年 京都府公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|------------|---------|
| 1. 元禄文化 | 2. 桃山文化 | 3. 弘仁・貞観文化 | 4. 国風文化 |
|---------|---------|------------|---------|
- 問5 8世紀末の日本において、それまでの奈良の地にあった都から、現在の京都府にあたる地へ都を移し、律令政治の立て直しを図った人物は誰か。（2018年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 桓武天皇 | 2. 推古天皇 | 3. 聖武天皇 | 4. 天智天皇 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問6 9世紀のはじめ、遣唐使とともに唐へ渡って仏教を学び、帰国後に比叡山に延暦寺を建てて天台宗を広めた人物は誰ですか。（2018年 茨城県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 空海 | 2. 行基 | 3. 最澄 | 4. 鑑真 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問7 平安時代中期に貴族の間で発達した「国風文化」における生活様式の変化について、建築と衣服の観点から説明したものとして正しいものはどれですか。（2016年 秋田県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 建築では仏教儀式を独占するための寺院建築のみが発達し、衣服では庶民と同じ麻布の着物が推奨された。 | 2. 建築では禅宗の影響を受けた書院造が、衣服では武士の礼装である直垂や素襖が一般的となった。 | 3. 建築では日本特有の寝殿造が、衣服では男性の正装である束帯や女性の十二単などが用いられるようになった。 | 4. 建築では大陸の様式をそのまま取り入れた壮大な石造建築が、衣服では活動的な胡服が主流となった。 |
|---|---|---|---|
- 問8 摂関政治において、藤原氏が長期間にわたって権力を維持し、政治の主導権を握ることができた背景として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 埼玉県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 天皇が位を譲って上皇となった後も、天皇に代わって「院」で政治の実務を行う仕組みを整え、藤原氏がその実務を代行した。 | 2. 自分の娘を天皇の后とし、その間に生まれた子を次の天皇に立てることで、天皇の祖父（外戚）となって政治を動かした。 | 3. 遣唐使を廃止して国風文化を振興し、仏教の浄土信仰を保護することで、民衆からの絶大な支持を背景に政治を行った。 | 4. 地方の有力な武士と結びつき、軍事力を背景にして天皇や他の貴族を圧倒することで、世襲による政治体制を確立した。 |
|--|--|---|---|
- 問9 平安時代の政治家である藤原実資の日記には、藤原道長が「この世をば わが世とぞ思う 望月の 欠けたることも なしと思えば」と詠んだ和歌が記されています。このように、満月を自分の権力に例えるほどの全盛期を迎えた藤原氏の時代背景の中で成立した、王朝文化を代表する作品はどれですか。（2023年 山梨県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|--------|
| 1. 平家物語 | 2. お伽草子 | 3. 源氏物語 | 4. 風土記 |
|---------|---------|---------|--------|
- 問10 平安時代に紫式部によって執筆され、唐などの中国文化をもとに日本の生活や感情に合わせて発展した文化を代表する長編小説として正しいものを、次のうちから1つ選びなさい。（2025年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|--------|---------|--------|
| 1. 平家物語 | 2. 枕草子 | 3. 源氏物語 | 4. 徒然草 |
|---------|--------|---------|--------|
- 問11 東北地方の地理的状況において、日本海側に位置する秋田県、その東側に隣接し太平洋に面する県、秋田県の南に位置する山形県、そして山形県の東側に隣接する宮城県という配置を想定したとき、奥州藤原氏が本拠地を置き、中尊寺金色堂を建立した「平泉」が位置する県はどこか、次の中から選びなさい。（2019年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 宮城県 | 2. 秋田県 | 3. 岩手県 | 4. 山形県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問12 10世紀から11世紀にかけて、藤原氏が摂政や関白として政治の実権を握った時期、それまでの中国文化の影響を消化し、日本の風土や生活感覚に合わせた独自の文化が発達しました。この文化が形成された大きな背景として最も適切なものはどれですか。（2023年 香川県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------------------|---|--|-------------------------------------|
| 1. 平清盛が日宋貿易を推進し、宋の優れた技術や貨幣を大量に導入したこと | 2. 聖徳太子が遣隋使を派遣し、仏教や大陸の優れた統治制度を積極的に取り入れたこと | 3. 菅原道真の建議によって遣唐使が廃止され、大陸との直接的な交流が途絶えたこと | 4. 元寇によってモンゴル帝国の脅威にさらされ、国家意識が高まったこと |
|--------------------------------------|---|--|-------------------------------------|
- 問13 平安時代末期の政情から鎌倉幕府の成立までを説明した次の文章において、空欄①と②にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを選びなさい。「12世紀半ば、鳥羽上皇の死をきっかけに皇室や貴族が二つの勢力に分かれて衝突する（①）が起こった。この戦いを通じて武士の力が認められるようになり、その後の動乱を経て平氏を倒し、鎌倉に幕府を開いた（②）による武家政治へとつながっていった。」（2025年 栃木県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------|---------------|----------------|----------------|
| 1. ①保元の乱 ②源頼朝 | 2. ①平治の乱 ②源義経 | 3. ①承久の乱 ②北条時政 | 4. ①保元の乱 ②足利尊氏 |
|---------------|---------------|----------------|----------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 醍醐天皇の命により、紀貫之らが日本最初の勅撰和歌集である『古今和歌集』を編纂した	かな文字の発達により、和歌や日記、物語など、日本語特有の響きを活かした文学が花開きました。10世紀初めに編纂された『古今和歌集』は、漢詩文が重視された時代から、再び和歌が公的な場での地位を取り戻したことを象徴しています。これに続いて『源氏物語』や『枕草子』などの傑作も誕生しました。
問2	答え 4 院政の実権をめぐる、上皇と天皇による主導権争い	平安時代末期、鳥羽法皇の死後、崇徳上皇と後白河天皇の間で「院政」の実権をめぐる対立が激化しました。この皇位継承や朝廷の主導権をめぐる争いに、藤原氏内部の対立や源氏・平氏などの武士が巻き込まれる形で武力衝突に至ったのが保元の乱です。選択肢にある「将軍の跡継ぎ問題」は室町時代の応仁の乱などの特徴であり、この時期の状況とは異なります。
問3	答え 1 政府が設置した市司（いちのつかさ）という役所の監督のもとで、物品の価格や度量衡の管理が行われた。	平安京の市は政府による統制経済の側面が強く、市司という官職が市場の不正を監視し、物価の安定や公正な取引（度量衡のチェックなど）を管理していました。中世のような「座」による独占販売や自由な商業活動とは異なり、律令国家の仕組みの一部として運営されていたのが特徴です。
問4	答え 4 国風文化	遣唐使の停止によって大陸との公的な往来が絶えたことで、日本の風土や生活、日本人の感情に即した「国風文化」が成立しました。この文化圏では、中国の漢字を崩して作られた平仮名やカタカナが広く使われるようになり、紫式部の『源氏物語』や清少納言の『枕草子』などの優れた女流文学が誕生したほか、貴族の住居である寝殿造や大和絵といった日本特有のスタイルが確立されました。
問5	答え 1 桓武天皇	794年に、都を長岡京から平安京（現在の京都市）へと移し、平安時代を切り開きました。当時、政治に強く介入するようになっていた奈良の仏教勢力から離れ、天皇を中心とする政治の仕組みを再構築することが大きな目的でした。
問6	答え 3 最澄	比叡山延暦寺を拠点に天台宗を広めたのは最澄です。同時期に活躍した空海は、高野山に金剛峯寺を建てて真言宗を広めました。この二人は、それまでの奈良の仏教とは異なる、山の中での修行を重んじる新しい仏教（山岳仏教）の形を確立しました。
問7	答え 3 建築では日本特有の寝殿造が、衣服では男性の正装である束帯や女性の十二単などが用いられるようになった。	国風文化の時代、生活のあらゆる面で日本風の形式が整えられました。建築様式では、風通しを考慮した「寝殿造（しんでんづくり）」が貴族の住宅として定着し、衣服においても、日本の気候に合わせて重ね着をする「束帯（そくたい）」や「十二単（じゅうにひとえ）」といった貴族独自の装束が完成しました。これらは、中国の模倣ではなく日本の生活環境に適應させた結果です。
問8	答え 2 自分の娘を天皇の后とし、その間に生まれた子を次の天皇に立てることで、天皇の祖父（外戚）となって政治を動かした。	摂関政治の本質は、天皇との血縁関係、特に母方の親類である「外戚」の地位にあります。藤原氏は娘を后として送り込み、生まれた皇子を幼くして天皇に即位させることで、摂政として政治を代行しました。選択肢にある「上皇として政治を行う」のは院政の説明であり、摂関政治とは対照的な仕組みです。
問9	答え 3 源氏物語	藤原道長が詠んだ和歌は、摂関政治によって権力の絶頂にいた藤原氏の状況を象徴しています。この時期に栄えた国風文化の代表作が『源氏物語』です。他の選択肢について、『平家物語』は武士が台頭する鎌倉時代の作品であり、『お伽草子』は室町時代に流行した物語、『風土記』は奈良時代に各地の伝承などをまとめた報告書です。
問10	答え 3 源氏物語	紫式部によって書かれた物語は「源氏物語」であり、貴族社会の様子や情念を描いた国風文化の代表作です。なお、「枕草子」は清少納言による随筆、「平家物語」は鎌倉時代の軍記物語、「徒然草」は鎌倉時代末期の吉田兼好による随筆です。
問11	答え 3 岩手県	奥州藤原氏（清衡・基衡・秀衡の三代）は、現在の岩手県南部に位置する平泉を拠点として約100年間にわたり東北地方を支配しました。中尊寺金色堂は、その平泉に建立された代表的な建築物です。当時の東北地方は、豊富に産出される金や馬を背景に独自の文化が栄えていました。
問12	答え 3 菅原道真の建議によって遣唐使が廃止され、大陸との直接的な交流が途絶えたこと	894年に遣唐使が廃止されたことで、それまで唐から取り入れてきた文化を、日本の気候や貴族の生活習慣に合わせて作り替える動きが加速しました。この時期の文化は国風文化と呼ばれ、藤原氏の摂関政治による安定した社会を背景に、優雅で洗練された日本独自のスタイルが確立されました。
問13	答え 1 ①保元の乱 ②源頼朝	鳥羽上皇の死後に発生し、崇徳上皇方と後白河天皇方に分かれて戦ったのは保元の乱です。この乱には源義朝や平清盛などの武士が動員されました。その後、平清盛が権力を握りますが、最終的に平氏を滅ぼして鎌倉幕府を開いたのは源頼朝です。

- 問1 平安時代に紫式部によって執筆され、唐などの中国文化をもとに日本の生活や感情に合わせて発展した文化を代表する長編小説として正しいものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2025年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|---------|--------|
| 1. 徒然草 | 2. 平家物語 | 3. 源氏物語 | 4. 枕草子 |
|--------|---------|---------|--------|
-
- 問2 平安時代、11世紀頃の日本の歴史について述べた資料において、当時の文化の広まりとともに、漢字を簡略化したり、その一部を取ったりして作られた日本独自の文字を用いて『源氏物語』が執筆されたことが示されています。この時、新しく生み出された文字を何といいますか。 (2019年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 象形文字 | 2. 万葉仮名 | 3. 仮名文字 | 4. ハングル |
|---------|---------|---------|---------|
-
- 問3 藤原氏が行った「摂関政治」の仕組みについて説明したものとして、最も適切な記述はどれですか。 (2025年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 天皇が幼少のときには摂政として、成人した後は関白として、政治の実権を握った。 | 2. 天皇が位を退いて上皇となった後、院政を行って天皇の成人に関わらず政治を主導した。 | 3. 太政大臣として太政官の最高責任者になり、天皇の許可なく法律を制定した。 | 4. 武家社会の代表として、朝廷から征夷大將軍に任じられ、政治の全権を委ねられた。 |
|---|---|--|---|
-
- 問4 平清盛が率いる平氏は、急速な勢力拡大に対して反発した源氏との間で、全国規模の争乱を繰り上げました。平氏が最終的に滅亡した、現在の山口県に位置する戦いの場所として適切なものを答えなさい。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|--------|--------|
| 1. 壇ノ浦 | 2. 屋島 | 3. 富士川 | 4. 一の谷 |
|--------|-------|--------|--------|
-
- 問5 平安時代初期に最澄や空海が伝えた新しい仏教は、奈良時代の仏教が政治に深く関わりすぎたことへの反省から、ある共通した特徴を持っていました。その特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2019年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|------------------------------------|-----------------------------------|--|
| 1. 文字の読めない庶民のために、念仏を唱えるだけで救われると説くことを重視した。 | 2. 人里離れた山の中に寺院を建て、厳しい修行を行うことを重視した。 | 3. 海外との貿易を盛んに行い、寺院の資金を蓄えることを重視した。 | 4. 都の中心部に巨大な寺院を築き、天皇の政治を直接補佐することを重視した。 |
|---|------------------------------------|-----------------------------------|--|
-
- 問6 藤原道長が、当時の政治体制において強大な権力を維持し続けることができた理由として、適切な仕組みはどれですか。 (2019年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 唐の律令を模範とした新しい法律を制定し、能力に関わらずすべての人を役人として登用したため。 | 2. 京都の東山に山荘を建てて芸術や文化を保護し、武士や僧侶たちの支持を広く集めたため。 | 3. 自分の娘を天皇と結婚させ、その間に生まれた皇子を次の天皇に立てて、自らが外祖父として後見したため。 | 4. 海外との貿易を独占して経済力を高め、その財力を用いて各地に強力な軍隊を派遣したため。 |
|--|--|--|---|
-
- 問7 平安時代中期に貴族の間で発達した「国風文化」における生活様式の変化について、建築と衣服の観点から説明したものとして正しいものはどれですか。 (2016年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 建築では大陸の様式をそのまま取り入れた壮大な石造建築が、衣服では活動的な胡服が主流となった。 | 2. 建築では禅宗の影響を受けた書院造が、衣服では武士の礼装である直垂や素襦が一般的となった。 | 3. 建築では日本特有の寝殿造が、衣服では男性の正装である束帯や女性の十二単などが用いられるようになった。 | 4. 建築では仏教儀式を独占するための寺院建築のみが発達し、衣服では庶民と同じ麻布の着物が推奨された。 |
|---|---|---|---|
-
- 問8 平安時代の皇族と藤原氏のつながりを示す系図において、藤原道長が自分の娘である彰子などを次々と天皇の后（きさき）にし、その子供が天皇に即位する流れが繰り返されていることがわかります。藤原氏がこのようにして権力を独占した手法と目的について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 遣唐使を通じて得た海外の知識を独占し、天皇を政治から遠ざけて知識層による共和制を行うため | 2. 天皇の位を廃止して、藤原氏自らが新しい王朝を開くための正当性を得るため | 3. 天皇の母方の祖父（外戚）という立場を確立し、天皇を後見することで政治の実権を握るため | 4. 武士団を組織して軍事的な圧力をかけ、太政官などの伝統的な行政組織を廃止するため |
|---|--|---|--|
-
- 問9 桓武天皇は、朝廷の支配力を高めるために東北地方へ大規模な軍を派遣しました。このとき、軍の総大将として任命され、蝦夷（えみし）の抵抗を抑えて現在の岩手県に胆沢城を築くなどの成果を上げた人物と、その官職名の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2018年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------|-----------------|---------------|-----------------|
| 1. 坂上田村麻呂 — 征夷大將軍 | 2. 中大兄皇子 — 太政大臣 | 3. 小野妹子 — 遣隋使 | 4. 足利尊氏 — 征夷大將軍 |
|-------------------|-----------------|---------------|-----------------|
-
- 問10 西暦804年、空海が遣唐使とともに唐へ渡った頃、日本国内で行われていた政策や出来事として正しいものはどれか。 (2017年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 承久の乱ののち、朝廷を監視するために京都に六波羅探題が設置された | 2. 坂上田村麻呂が征夷大將軍として東北地方に派遣され、支配地域を広げた | 3. 聖徳太子が冠位十二階を定め、家柄にとらわれない人材登用を行った | 4. 大名を厳しく統制するために武家諸法度が制定され、違反者は処分された |
|-------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|
-
- 問11 12世紀後半に起こった保元の乱や平治の乱は、その後の日本の政治のあり方を大きく変えるきっかけとなりました。これらの動乱が武家政治の成立へとつながっていった背景として、最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 平将門が東国で新皇と称して独立を宣言したことにより、朝廷が地方の支配権をすべて武士に譲渡したため。 | 2. 地方の武士が全国的な組織を形成して朝廷を直接攻撃し、貴族に代わって新しい法律を定めたため。 | 3. 外国からの侵略に備えるため、朝廷が軍事の専門家である武士に政治の全権を委ねる制度を整えたため。 | 4. 朝廷内や貴族間の権力争いを武力で解決するために武士の力が不可欠となり、武士の政治的影響力が強まったため。 |
|--|--|--|---|
-
- 問12 平安時代初期、最澄が唐（中国）から日本に伝え、その後の日本仏教に大きな影響を与えた宗派と、その拠点となった寺院の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|---------------|--------------|--------------|
| 1. 時宗 — 清浄光寺 | 2. 真言宗 — 金剛峯寺 | 3. 浄土宗 — 知恩院 | 4. 天台宗 — 延暦寺 |
|--------------|---------------|--------------|--------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 源氏物語	紫式部によって書かれた物語は「源氏物語」であり、貴族社会の様子や情念を描いた国風文化の代表作です。なお、「枕草子」は清少納言による随筆、「平家物語」は鎌倉時代の軍記物語、「徒然草」は鎌倉時代末期の吉田兼好による随筆です。
問2	答え 3 仮名文字	平安時代中期、遣唐使の廃止などを背景に日本の風土や感性に合った「国風文化」が発達しました。この時期に、漢字を崩して書く「ひらがな」や、漢字の一部を取った「カタカナ」といった「かな（仮名文字）」が発明されました。これにより、漢字だけでは表現しにくかった日本人の感情や考えを自由に書き記すことが可能になり、紫式部による『源氏物語』などの優れた宮廷文学が誕生しました。
問3	答え 1 天皇が幼少のときには摂政として、成人した後には関白として、政治の実権を握った。	藤原氏は、自分の娘を天皇の后に送り出し、その間に生まれた子を次の天皇に即位させることで、天皇の親戚（外戚）としての地位を固めました。天皇が幼い時期は「摂政」の役職で政治を代行し、成人してからも「関白」として政治の全般を補佐・管理することで、長期間にわたり権力を独占しました。
問4	答え 1 壇ノ浦	源頼朝が挙兵した後、平氏は源義経らによって西へと追い詰められました。1185年、山口県の下関にある壇ノ浦で行われた海戦に敗れ、平氏政権は完全に滅びました。
問5	答え 2 人里離れた山の中に寺院を建て、厳しい修行を行うことを重視した。	奈良時代には僧が政治に干渉する弊害が見られたため、平安時代初期の新しい仏教は、比叡山や高野山といった山の中に寺院を構え、世俗を離れて修行に専念するスタイルを取りました。これを山岳仏教と呼びます。
問6	答え 3 自分の娘を天皇と結婚させ、その間に生まれた皇子を次の天皇に立てて、自らが外祖父として後見したため。	摂関政治の仕組みは、天皇との血縁関係を基礎としています。道長は4人の娘を次々と中宮や皇后にし、生まれた子（孫）を天皇に即位させることで、天皇の母方の親戚（外戚）としての地位を固め、政治の決定権を握り続けました。
問7	答え 3 建築では日本特有の寝殿造が、衣服では男性の正装である束帯や女性の十二単などが用いられるようになった。	国風文化の時代、生活のあらゆる面で日本風の形式が整えられました。建築様式では、風通しを考慮した「寝殿造（しんでんづくり）」が貴族の住宅として定着し、衣服においても、日本の気候に合わせて重ね着をする「束帯（そくたい）」や「十二単（じゅうにひとえ）」といった貴族独自の装束が完成しました。これらは、中国の模倣ではなく日本の生活環境に適応させた結果です。
問8	答え 3 天皇の母方の祖父（外戚）という立場を確立し、天皇の後見することで政治の実権を握るため	藤原氏は「外戚（がいせき）」、つまり天皇の母方の親戚となることで、宮廷内での発言力を極限まで高めました。藤原兼家や道長は、娘を天皇の妃として送り込み、生まれた皇子が即位すると、その祖父として摂政などの要職に就きました。これは武力によるクーデターではなく、当時の婚姻制度や家族形態を利用した権力独占の仕組みです。
問9	答え 1 坂上田村麻呂 ― 征夷大將軍	桓武天皇は東北地方への勢力拡大を重視し、軍事的な成功を収めるために有能な武官である坂上田村麻呂を「征夷大將軍」に任命しました。彼は東北地方へ進撃してアテルイなどの蝦夷の指導者を降伏させ、胆沢城を拠点として朝廷の支配地域を北へと大きく広げました。他の選択肢にある足利尊氏は鎌倉幕府を滅ぼした後の人物であり、時代が異なります。
問10	答え 2 坂上田村麻呂が征夷大將軍として東北地方に派遣され、支配地域を広げた	空海が唐に渡ったのは平安時代の初期である。この時期、桓武天皇の命を受けた坂上田村麻呂は、征夷大將軍として東北地方へ遠征し、胆沢城を築くなどして蝦夷（えみし）の抵抗を抑え、朝廷の支配地域を拡大した。他の選択肢について、冠位十二階は飛鳥時代、六波羅探題は鎌倉時代、武家諸法度は江戸時代の出来事であり、時期が異なる。
問11	答え 4 朝廷内や貴族間の権力争いを武力で解決するために武士の力が不可欠となり、武士の政治的影響力が強まったため。	保元の乱や平治の乱では、皇位継承や貴族社会の内部対立を解決するために、武士の軍事力が利用されました。この過程で、貴族たちは武士の力なしには権力を維持できないことが明らかになり、武士が政治の中枢に進出する道が開かれました。特に平治の乱に勝利した平清盛は、武士として初めて太政大臣に就任し、武家政権の先駆けとなりました。
問12	答え 4 天台宗 ― 延暦寺	最澄は、唐に渡って仏教を学び、帰国後に比叡山（滋賀県と京都府の境）に延暦寺を建立して天台宗を広めました。空海が和歌山県の高野山に金剛峯寺を建てて開いた真言宗と混同しないよう注意が必要です。延暦寺は「日本仏教の母山」とも呼ばれ、後に鎌倉新仏教を開く多くの僧侶たちがここで修行しました。